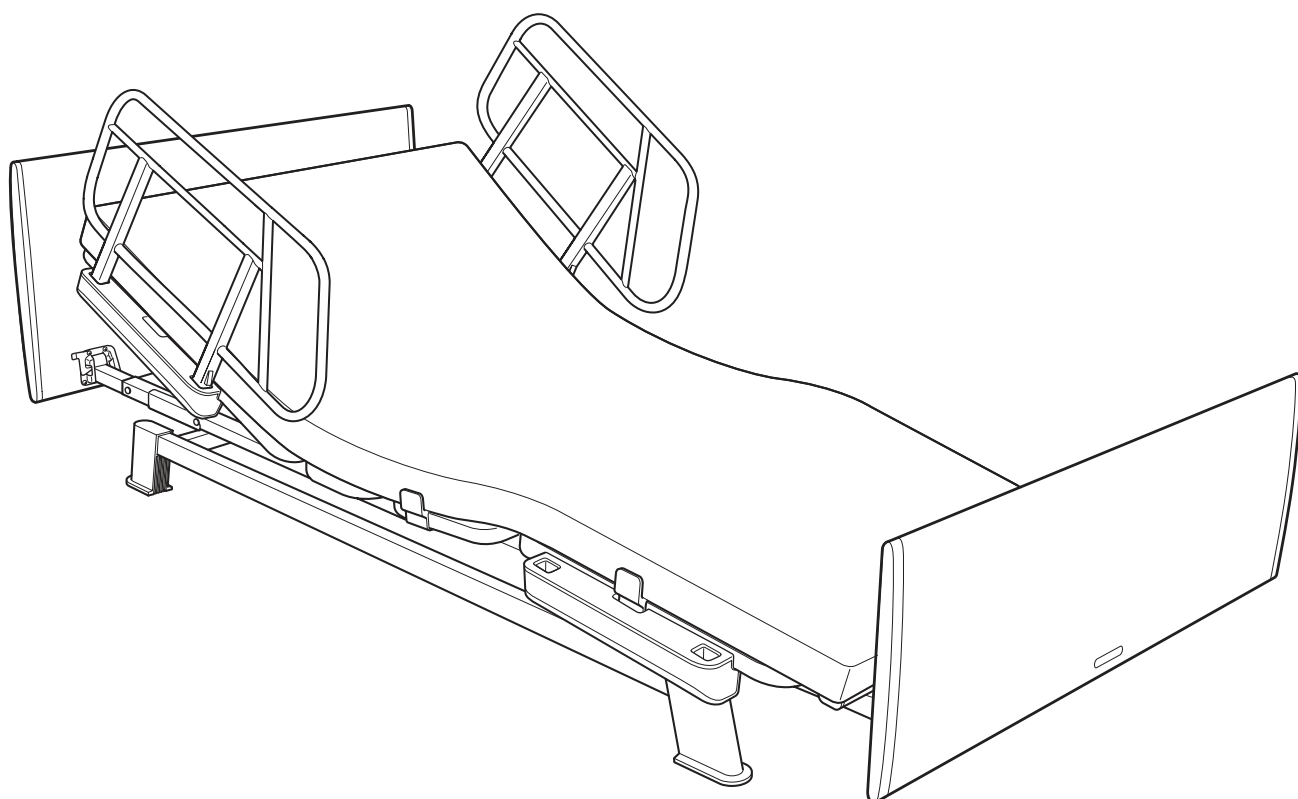
KËPROCORE®

電動在宅ケアベッド K-620A・B/630

取扱説明書

このたびは、電動在宅ケアベッド　和夢“雅”K-620A・B/630をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立・分解の方法や使用方法などを記入しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
- ベッドで療養される方だけでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をお読みください。
- この取扱説明書はお読みになったあとも、いつでも見られる場所に保管してください。

販売店、レンタル業者の方へのお願い

この取扱説明書は、必ず療養される方か介護される方へお渡しください。

シーホネンス株式会社

ベッドの特長

1. 超低床25cm。乗り降りしやすく、安定した端座位をとることができます。
2. 「スイングバックボトムシステム」により身体が圧迫されず、足側へのすべりも抑えられ、楽に起き上がることができます。
3. 手元スイッチ操作でベッドポジションを自在にコントロールできます。
4. ヨーロッパで開発された高性能・超静粛リニアアクチュエータを採用しています。
5. 抗菌塗装で安全・衛生的。電装部は防塵防水仕様で水や洗剤での清拭にも安心です。

ベッドの使用目的

「電動在宅ケアベット　和夢“雅”K-620A·B/630シリーズ」ベッドは、
ご家庭での介護を行うことを目的として作られたベッドです。

もくじ

はじめに
必ずお読みください

とにかく
使ってみる

正しい設置と組立て

もしも必要なとき

安全にお使いいただくために

必ずご使用前に、この**「安全にお使いいただくために」**をよくお読みになり、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

警　告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が生命にかかわるケガや重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
感電注意	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図記号の中に具体的な注意内容（左図の場合には「感電注意」）が描かれています。
分解禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合には「分解禁止」）が描かれています。

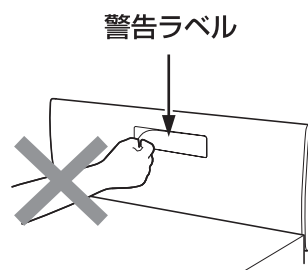
ベッド組立前や操作時には、下記の項目の「警告」および「禁止」を必ずお読みください。※表記中の（p0 ）は参照先ページを示しています。

●警告ラベルについて（p4 ）
●ヘッドボード・フットボードについて（p5 ）
●電源について（p5 ）
●組立てについて（p6 ）
●操作（動作時）について（p6 ～p7 ）

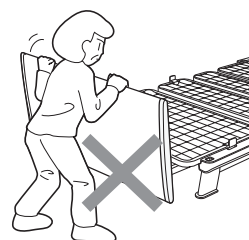
警告ラベルについて

●警告ラベルをはがさない

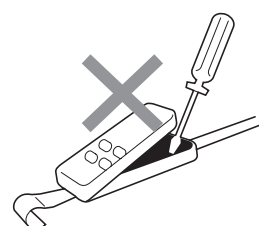
警　告

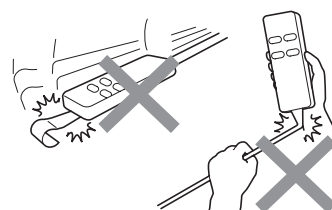
事故、破損の原因となります。
ベッドをお使いの方に対して、特に注意していただきたいことをラベルにしてフットボードの内側に貼っています。
警告ラベルをはがしたり傷をつけたりしないでください。

ヘッドボード・フットボードについて

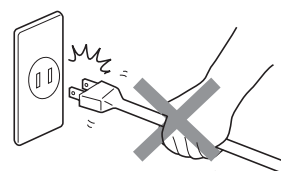
●ボードに荷重がかかるリハビリなどはしない

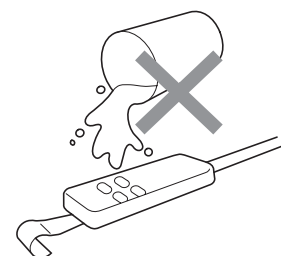
事故、破損の原因となります。
各ボードに身体をよりかけたり、腰をかけたり、ボード自体に荷重がかかるリハビリなどを行うと大変危険です。絶対にしないでください。

電源について

●分解、改造はしない

事故、破損の原因となります。
弊社指定の修理技術者以外の方は、手元スイッチや電源ボックスなどを分解や改造、修理は絶対にしないでください。

●手元スイッチやコードを傷つけない

事故、破損の原因となります。
手元スイッチを落としたり、手元スイッチのコードや電源コードを強く引っ張ったり、ベッドを操作するときにコードを挟まないようにしてください。

●電源コードを持って抜かない

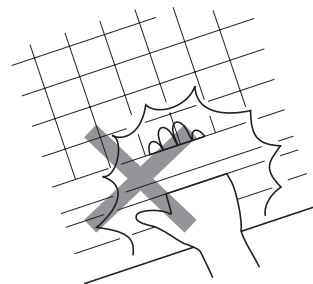
故障、感電の原因となります。
電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って、引き抜いてください。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

●手元スイッチに水などをこぼさない

感電、事故、破損の原因となります。
手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水などををこぼさないでください。
万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

安全にお使いいただくために

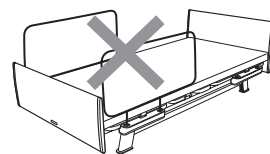
組立てについて

●手や指を挟まない

注　意

事故、ケガの原因となります。
手や指を挟まないように十分注意して組み立ててください。
※脚座を取付けるとき（p18 ）
※モーターユニットを取付けるとき（p19 ）
※座ボトムを取付けるとき（p22 ）
※背ボトムを取付けるとき（p23 ）
※フロントユニットを取付けるとき（p24 ）
※膝ボトム・脚ボトムを取付けるとき（p25 ）
※リアユニットを取付けるとき（p26 ）
※ヘッドボード・フットボードを取付けるとき（p28 ～29 ）
※オプションを取付けるとき（p36 ～p38 ）

●他社製品とは組み合わせない

注　意

事故、破損の原因となります。
マットレス、サイドレール、キャスターなどは他社製品を使わないでください。
必ず弊社適合商品をお使いください。（p35～p38）

操作（動作時）について

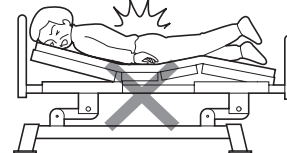
●ベッドを二人以上で使用しない

注　意

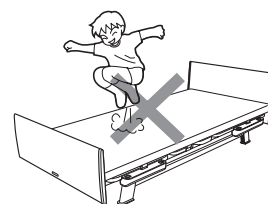
事故、破損の原因となります。
このベッドの最大使用者体重は135kg です。

●うつ伏せで背上げ操作をしない

警　告

うつ伏せで寝た状態での背上げ操作は関節を逆さに曲げることになり、ケガの原因となります。

●踏み台代わりにしたり、ベッドの上で飛び跳ねない

警　告

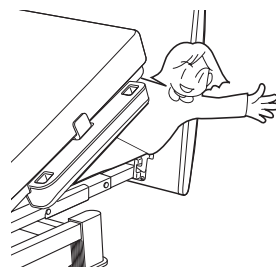
ベッドから転落、転倒してケガの原因となります。
特にお子さまにご注意ください。

●上がっている背ボトムや脚ボトムに乗らない

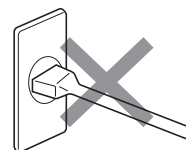
警　告

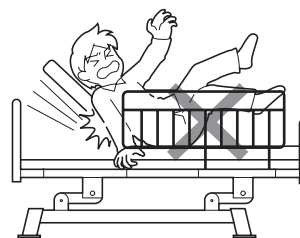
事故、破損の原因となります。
ベッドから転落、転倒してケガの原因となります。
特にお子さまにご注意ください。

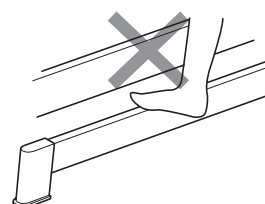
操作（動作時）について

●ベッドの中やフレームの間にもぐり込まない

ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレールとの間に頭、腕や足を挟んでケガの原因となります。
ベッドの中にもぐり込んだり、ベッドの中に頭、腕や足などを入れないこと。ベッドの下や周りに障害物がないか確認して操作してください。

●誤動作による事故を防ぐために

お子さまや操作が理解できないと思われる方がおひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合（介助する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

●手や足などを挟まれないように

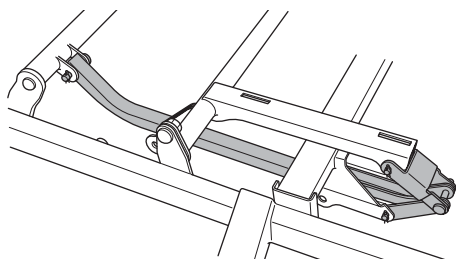
手や足を挟んでケガをします。
ベッドの操作時には、頭や手、足をベッドの外に出して挟まれたりしないように十分注意してください。

●足先をハイローベースユニットの下に置かない

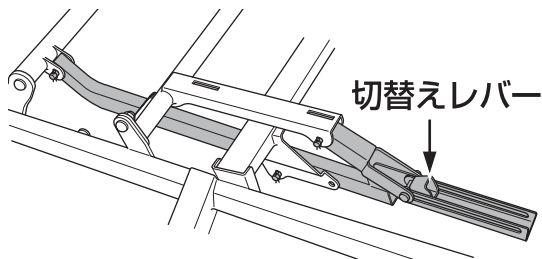
足先を挟んでケガの原因となります。
ハイローベースユニットの上に足をかけたり、足先をハイローベースユニットの下に置いたりしないこと。

●治療中の方は医師に相談してください

現在治療中の方は、ベッドの背上げや脚上げ操作によって症状を悪化させる可能性があります。
ベッドを使用する際はかかりつけの医師にご相談ください。

主要部のなまえとはたらき

K-620A　ケアモーション

固定しているピンとスナップピンを外して組みかえることで、背ボトムのみと、ケアーモーション機構の2種類選べます。
（p13）

K-620B　背上げ脚連動

切替えレバーにより、背ボトムのみと、背ボトムと膝ボトムが連動して動く脚連動の2種類選べます。
（p14 ）

マットレス止め
（p30）

脚ボトム
（p25）

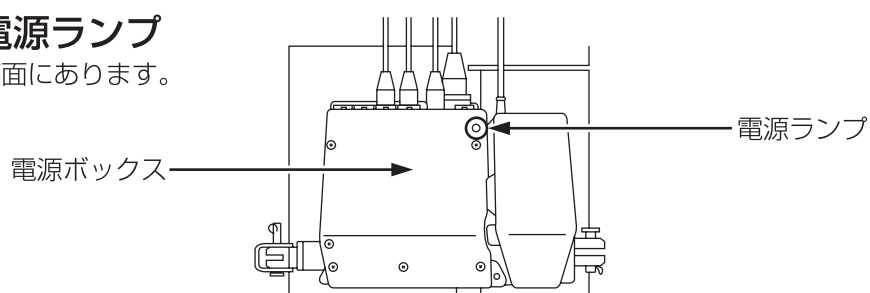
フットボード
ボードストッパーを外して、上に持ち上げると外れます。足の処置などに便利です。
（p28～29 ）

電源プラグ
（p21）

電源コード
（p21）

脚先フレーム
（p27）

電源ボックスと電源ランプ

座ボトムと膝ボトムの裏面にあります。
（p21）

操作（動作）のしかた

手元スイッチについて

ベッドを操作する前に、電源プラグをコンセントに差し込んでください。（p21）

ランプ
ボタンを押すと緑色に点灯します。

背ボトムの上げ下げボタン
背ボトム（あたま）の角度が調節できます。
2 モーターは、膝ボトムを連動させることができます。

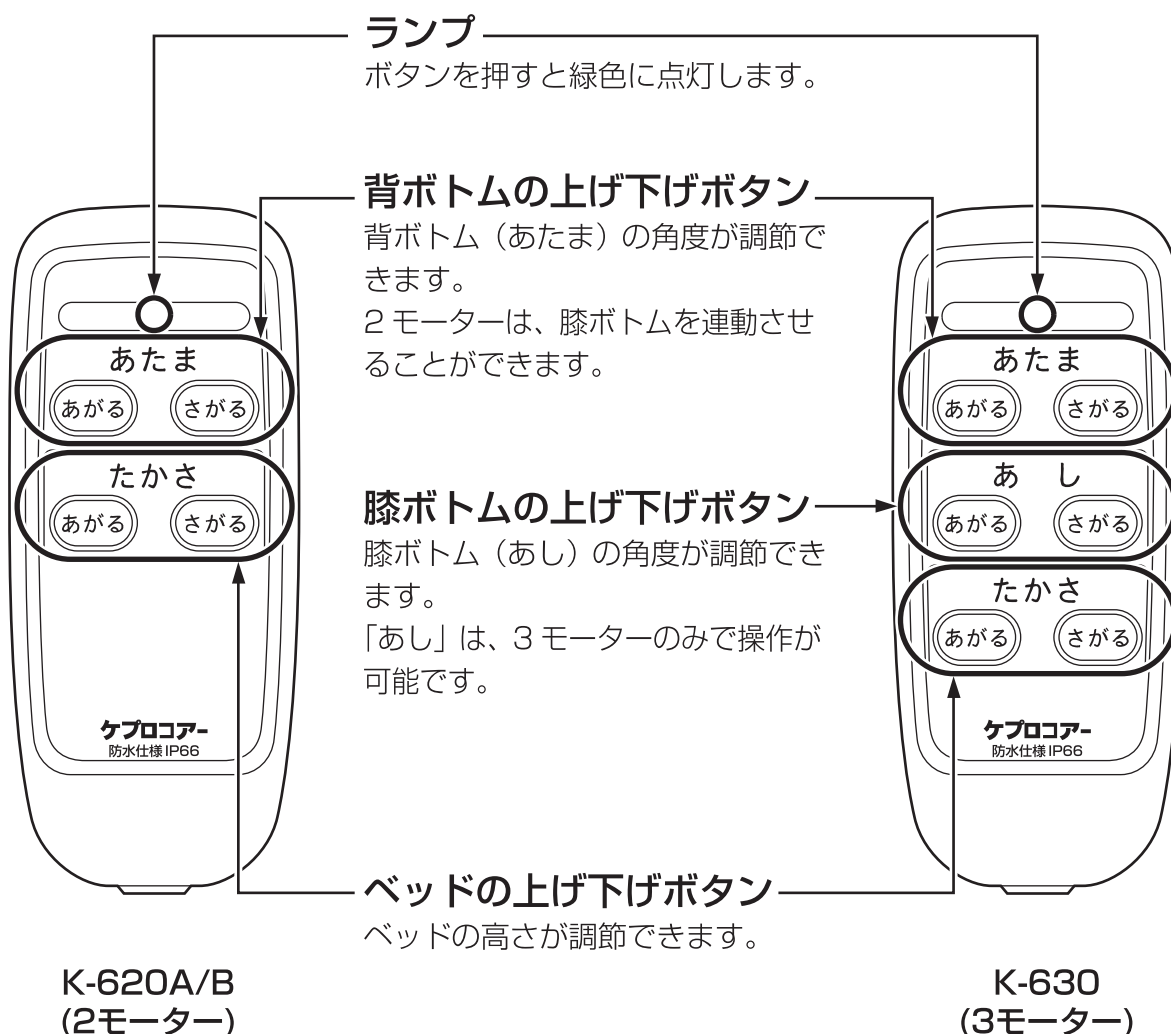
膝ボトムの上げ下げボタン
膝ボトム（あし）の角度が調節できます。
「あし」は、3 モーターのみで操作が可能です。

ベッドの上げ下げボタン
ベッドの高さが調節できます。

あたま
あがる　さがる
たかさ
あがる　さがる
ケプロコアー
防水仕様 IP66

K-620A/B
(2モーター)

あたま
あがる　さがる
あ　し
あがる　さがる
たかさ
あがる　さがる
ケプロコアー
防水仕様 IP66

K-630
(3モーター)

●手元スイッチを押しても下記のような症状が起きたら、「故障かな？と思ったら」（p43）を参照して点検してください。

※ランプが点灯しない。

※ベッドが動かない。

それでも直らない場合は、販売店にご連絡ください。

●モーターの連続使用時間は6分までです。6分以上の連続使用は行わないでください。
次に使用する場合は十分に時間をおいて使用してください。

お願い

●お子さまや操作が理解できないと思われる方がおひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合（介助する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

●手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水などをこぼすと、感電、事故、破損の原因となります。
万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

K-620A/B 2モーターの操作のしかた

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。
必要な位置まで動かしてお使いください。
※ 別売りモーターを装着することで3モーターにすることができ、膝ボトムを個別に動かすことができるようになります。

●ケアモーションについて(K-620A)

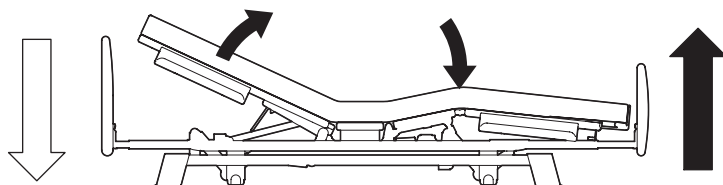
■ケアモーションは背上げ時、背下げ時の圧迫感やずれを軽減し、より良い姿勢を保つことを目的とした機能です。
ご使用上、次のような特長があります。

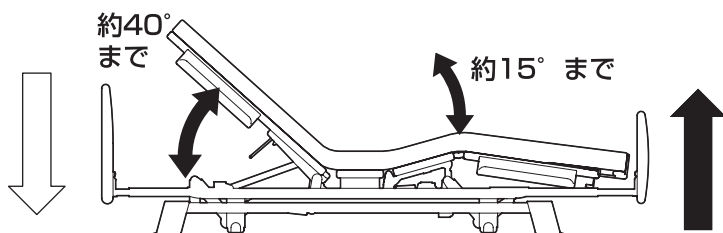
●背上げ時、背下げ時の圧迫感を大幅に軽減します。
●背上げ時、背下げ時のからだのずれを大幅に軽減します。
●背上げ時、背下げ時の姿勢をしっかり保持します。

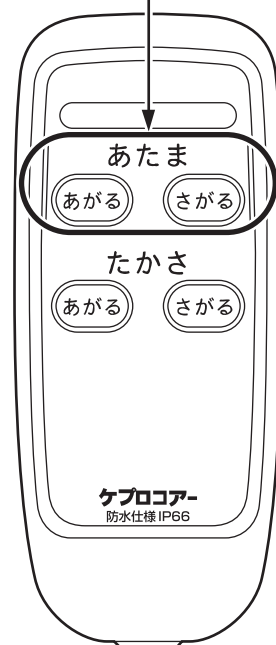
背上げ時

① 背ボトムが上がると同時に膝ボトムが上がります。

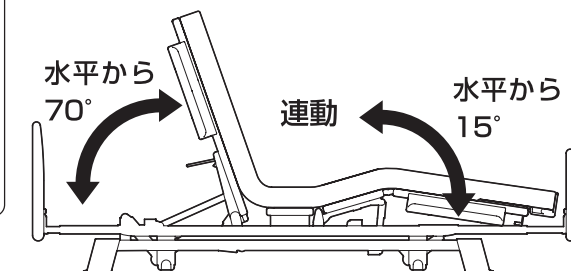
背下げ時

③ 背ボトムが下がると膝ボトムは水平まで下がります。

② 背ボトムが約40°まで上がると膝ボトムは約15°まで上がります。さらに背ボトムが上がると膝ボトムは下がり始めます。

② 背ボトムが約40°まで下がると膝ボトムは約15°まで上がります。さらに背ボトムが下がると膝ボトムは下がり始めます。

③ 背上げ時、背ボトムが約70°まで上がると膝ボトムは水平まで下がります。

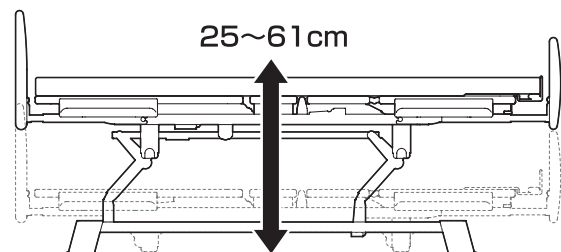
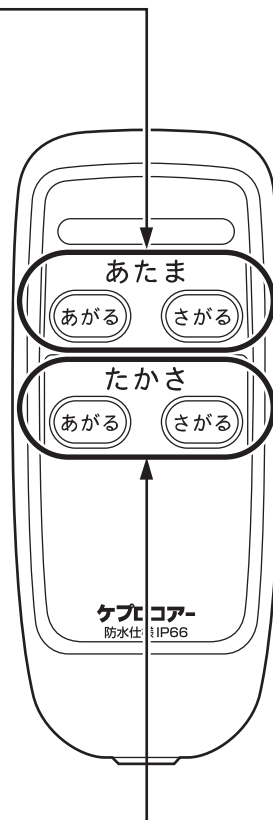
① 背ボトムが下がると同時に膝ボトムが下がります。

操作（動作）のしかた

●背上げ脚連動について（K-620B）

●ベッドから起き上がるとき
●ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

●背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム70度、膝ボトム15度まで上がります。
●2モーターは、膝ボトムだけでの角度調節はできません。

あたま
あがる　さがる
たかさ
あがる　さがる

●たかさ調節について

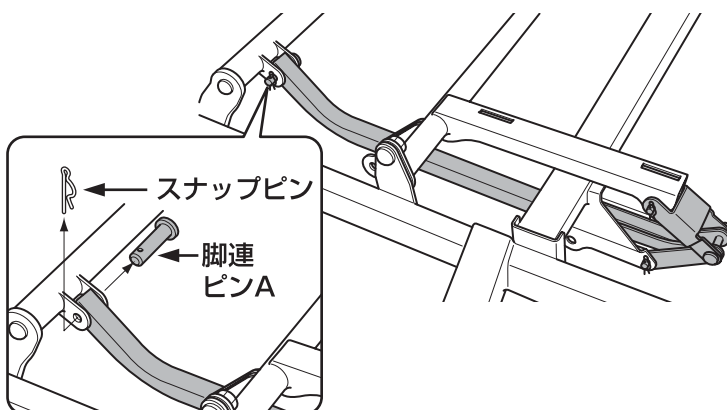
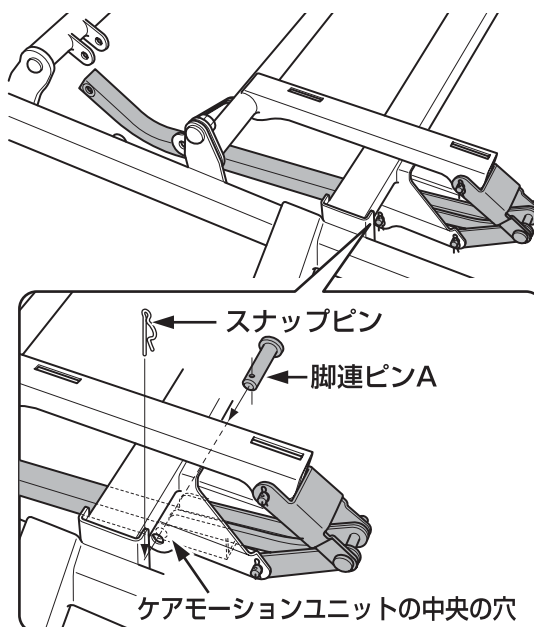
●乗り降りのときに高さを調整
●サポートしやすい高さに調整するときに便利
●腰に負担をかけない

●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからボトムまでの高さを25〜61cm間で調節できます。

ベッドに乗り降りする場合は乗り降りしやすい高さにベッドを調整し、座ボトムに腰かけてから行ってください。
他のボトムから乗り降りすると、ケガや故障のおそれがあります。特に背ボトム、脚ボトムだけに荷重をかけると大変危険です。

K-620A ケアモーションの解除のしかた

ピンとスナップピンを付けかえることにより、ケアモーションの解除ができます。

ベットの高さを一番上まであげた状態で行うと作業を楽に行うことができます。

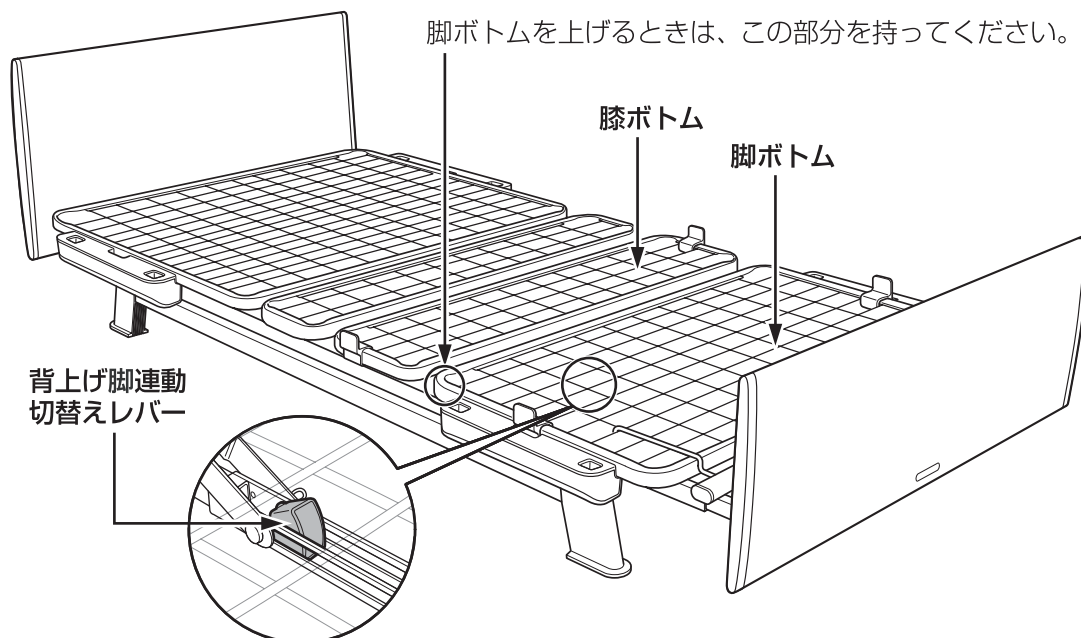
1 座ボトム（p22を参照）と膝・脚ボトム（p25を参照）を取外します。
レギュラーの場合は、脚先フレーム（p27を参照）を取外します。

2 ケアモーションユニットを取付けている脚連ピンAとスナップピンを取外します。

3 ケアモーションユニットの中央の穴と固定金具の下側の穴とを合わせて②で取外した脚連ピンAとスナップピンを使用して取付けてください。

4 座ボトム（p22を参照）と膝・脚ボトム（p25を参照）を取付けます。
レギュラーの場合は、脚先フレーム（p27を参照）を取付けます。

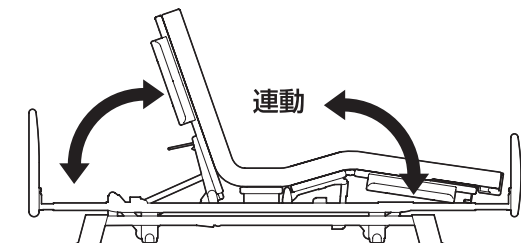
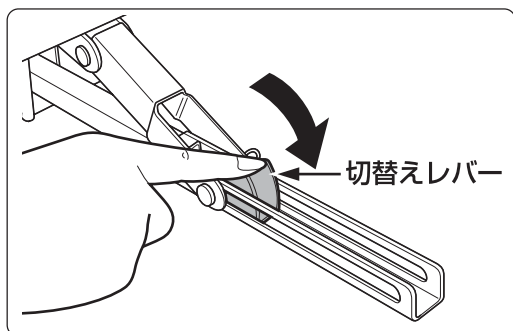
● 事故、破損の原因になります。
脚連ピンAとスナップピンはしっかりと差し込んでください。

操作（動作）のしかた

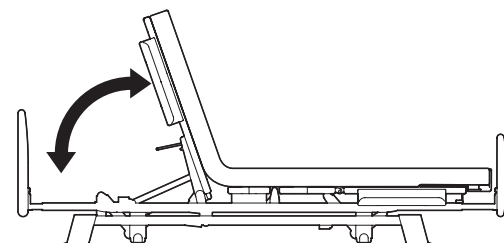
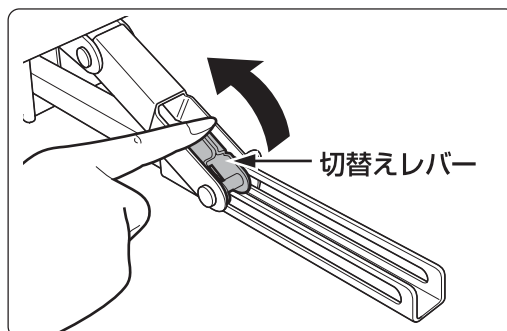
K-620B 背上げ脚連動切替え操作について

K-620B（2モーター）は背上げ脚連動切替え操作ができ、次のような特長があります。療養されている方の状態にあわせて使い分けてください。
※療養されている方がベッドに乗っている状態でも操作ができます。
※連動操作で膝ボトムが上がっている状態でも切替えができます。

背上げ脚連動状態

1 脚ボトムを持ち上げる

2 レバーを下図の位置にし、手元スイッチの「あたま」ボタンを押す
※背ボトムと膝ボトムが連動して動作します。

背上げ脚連動解除状態

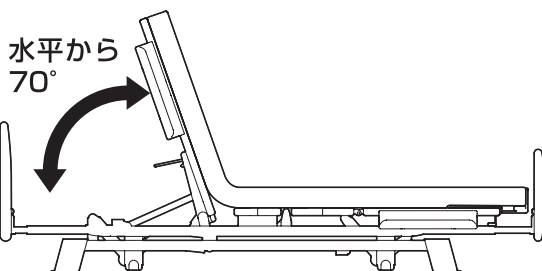
1 脚ボトムを持ち上げる

2 レバーを下図の位置にする
※連動が解除され、背上げのみの操作になります。

- 背上げ脚連動切替えレバーの操作は、必ず手で行ってください。
- ボトムとフレームの間で手を挟まないよう注意してください。

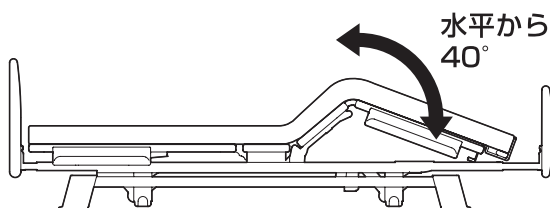
K-630 3モーターの操作のしかた

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、膝ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。（3モーターでは背上げ脚連動操作はできません。）

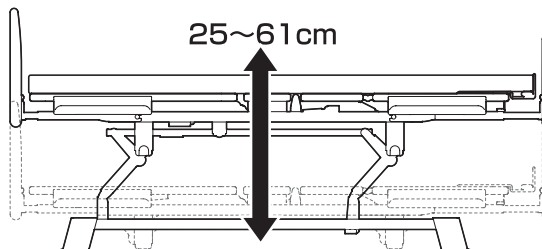
●背上げについて

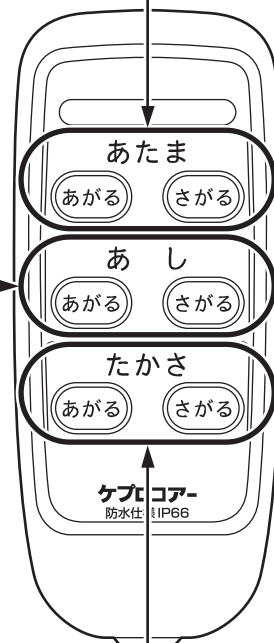
●ベッドから起き上がるとき
●ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

●背ボトムの角度を調節できます。
背ボトムは、水平から最大70度まで調節できます。

●膝上げについて

●背上げを行う場合に便利
●からだに負担をかけない

●膝ボトムの角度を調節できます。
膝ボトムは、水平から最大40度まで調節できます。
※背上げを行う場合、先に膝ボトムを上げておくと体のずれが少なくなります。
※からだに負担がかからないように調節します。

●たかさ調節について

●乗り降りのときに高さを調整
●サポートしやすい高さに調整するときに便利
●腰に負担をかけない

●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからボトムまでの高さを25～61cm間で調節できます。

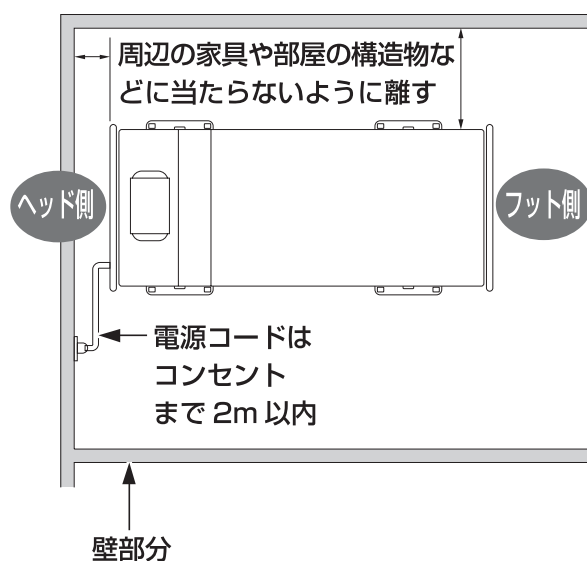
あたま
あがる さがる
あ し
あがる さがる
たかさ
あがる さがる
ケアフロアー
防水仕様IP66

設置について

設置場所について

ベッドを設置する際は、以下の条件を考慮してください。

●設置スペースを確保する

次のことを考慮したうえで、下図を参考に設置します。

1. 療養されている方がベッドの左右どちら側から乗り降りがしやすいか。
2. 介助をするためのスペースがどれだけ必要か。

●水平で丈夫なゆかを選ぶ

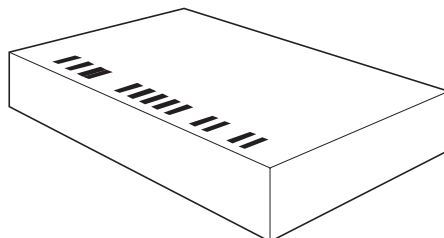
ベッドの重量は約74～77Kgです。ベッドの重量と療養される方、オプション製品、寝具なども含めた重量が使用時の静荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保してください。

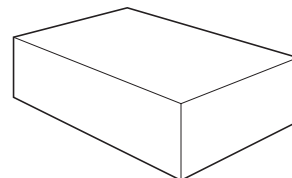
その他のお願い

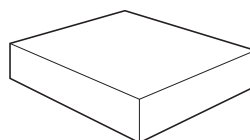
- ●電源プラグを抜き差ししやすいところにベッドを設置してください。
- ●冷暖房機の風が、直接ベッドに当たらないようにベッドを設置してください。
- ●ベッドの電源は直接コンセントからとってください。延長コードやテーブルタップなどを使用すると火災の原因になります。
- ●ベッドは電動で動きます。可動範囲に注意して、周辺の家具、部屋の構造物などに当たらないようにしてください。

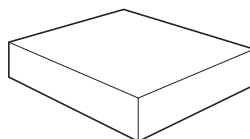
開梱と部品の確認

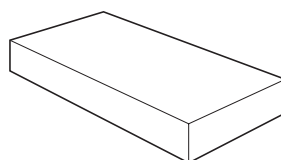
組立てる前に

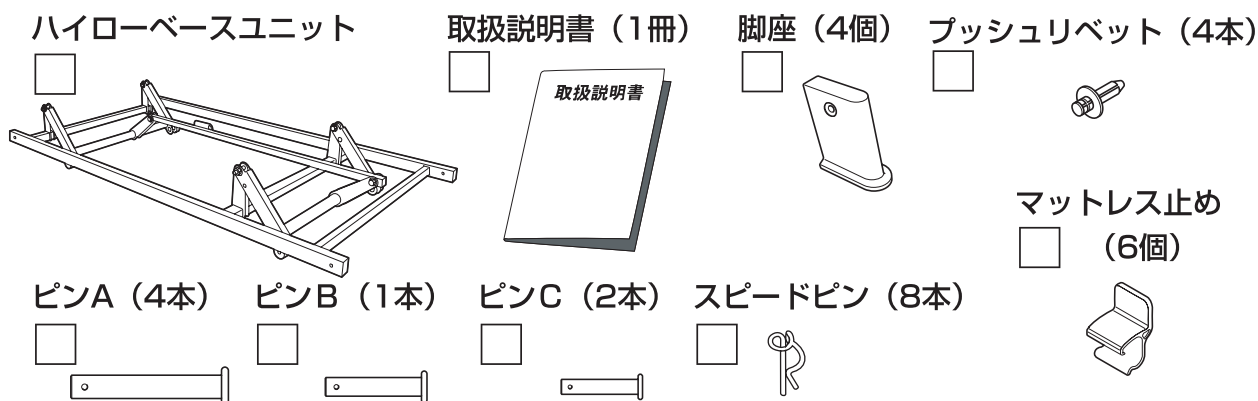
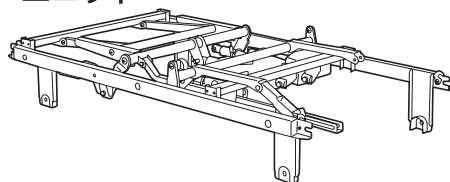
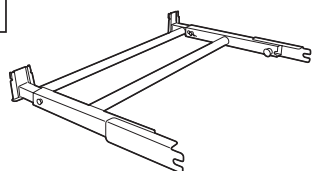
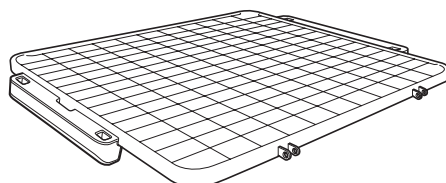
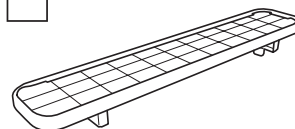
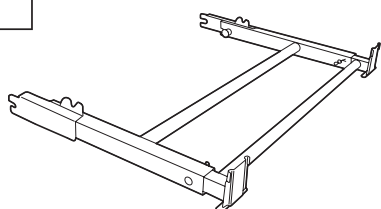
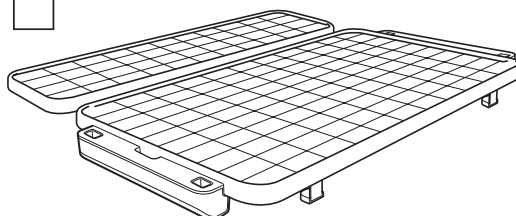
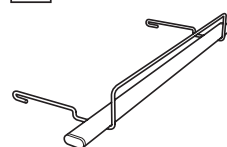
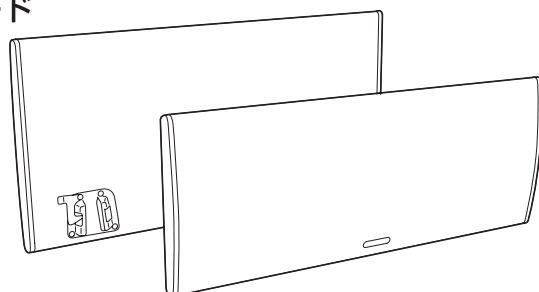
●ハイローベースユニット

153×77×19（cm）
約16.5kg（20kg）
（ kg）は梱包材を含めた重量

●モーターユニット

129×70×26（cm）
620A･B　約22.5kg（27.5kg）
630　約24kg（29kg）

●フロントユニット／背ボトム／座ボトム

92×85×16（cm）
約13.5kg（17.5kg）

●リアフユニット／膝・脚ボトム／脚先フレーム

103×86×16（cm）
約14.5kg（18.5kg）

●ヘッドボード／フットボード

92×48×12（cm）
約9kg（11kg）

- ●組立てる前に、下記の部品が全て揃っているか確認してください。
- ●不足している部品や、破損している部品がある場合は、販売店にご連絡ください。

ベッドの組立てかた

ベットを組立てる前に、p16の「設置について」に従い必ずベッドの配置を決めてください。作業はお二人でされることをおすすめします。2モーターと3モーターの組立て方法は同じです。

1. 脚座を取付ける

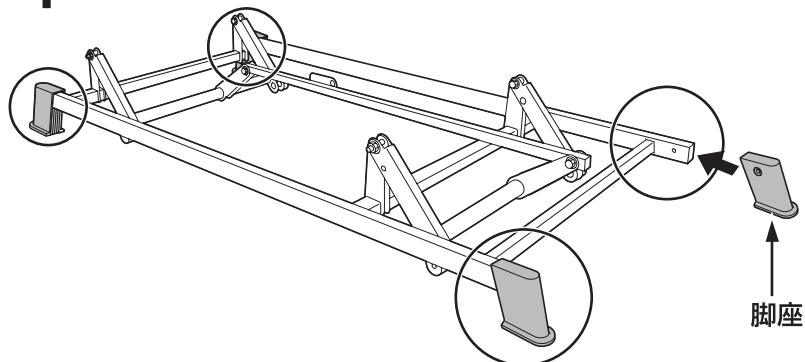
※オプションで脚座をキャスターにすることもできます。(p38)

脚座には左右があります。穴の開いている方を内側にしてください。

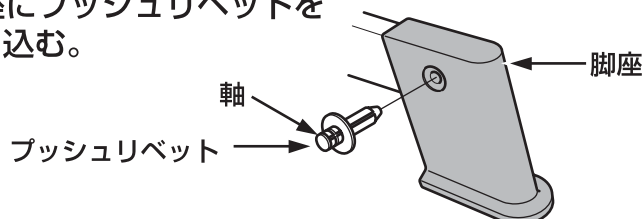
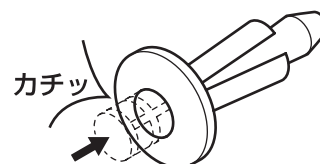
お願い

事故、破損の原因となります。

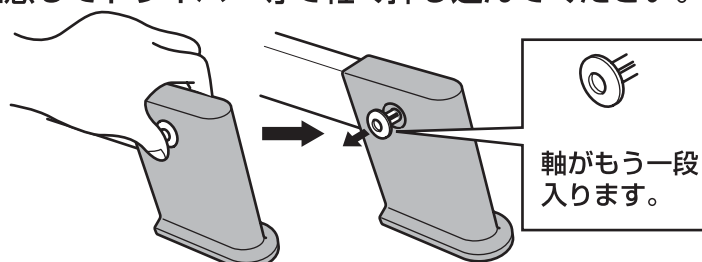
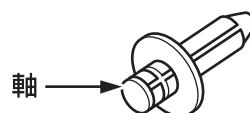
脚座は、プッシュリベットで確実に固定してください。

1 ハイローベースユニットに脚座を差し込む（4ヶ所）

2 脚座をプッシュリベットで固定する（4ヶ所）

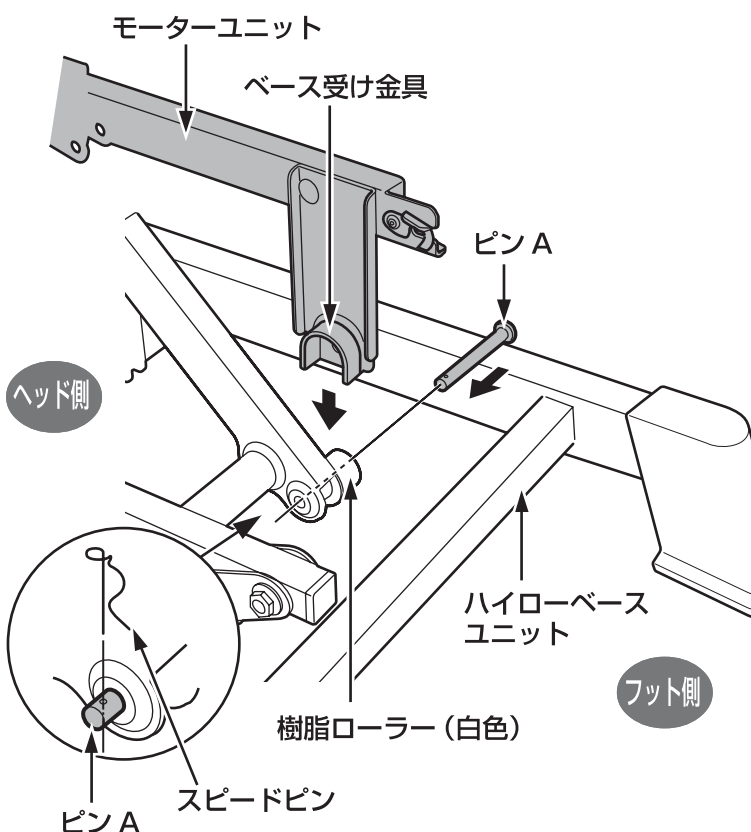
●プッシュリベットの取付け方

（1）脚座にプッシュリベットを差し込む。

（2）カチッと音がするまで軸を押し込む。

●プッシュリベットの取外し方

●カチッと音がするまで軸を、さらに押し込んでください。固定が解除されますので、そのまま抜いてください。

※指で押し込めない場合は、押し込みすぎないように注意してドライバー等で軽く押し込んでください。

※再度取付ける際は、左図の様に軸を出してください。

2. モーターユニットを取付ける

1 ヘッド側シールが付いている方を合わせ持ち上げる

2 樹脂ローラーとベース受け金具が合うようにモーターユニットをのせる（4ケ所）

3 ピンAを差し込み、スピードピンで取付ける（4ケ所）

お願い

事故、破損の原因となります。

- モーターユニットのヘッド側シールとハイローベースユニットのヘッド側シールを合わせてください。
- ピンAとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

事故、ケガの原因となります。

- 手、指づめに注意してください。

ベッドの組立てかた

3. ハイローモーターを取付ける

●位置関係図

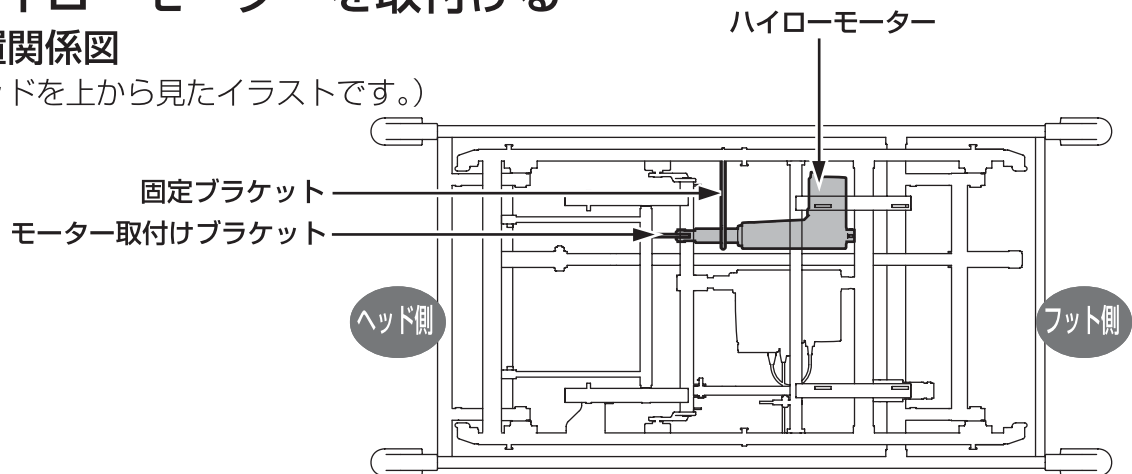
（ベッドを上から見たイラストです。）

ハイローモーター

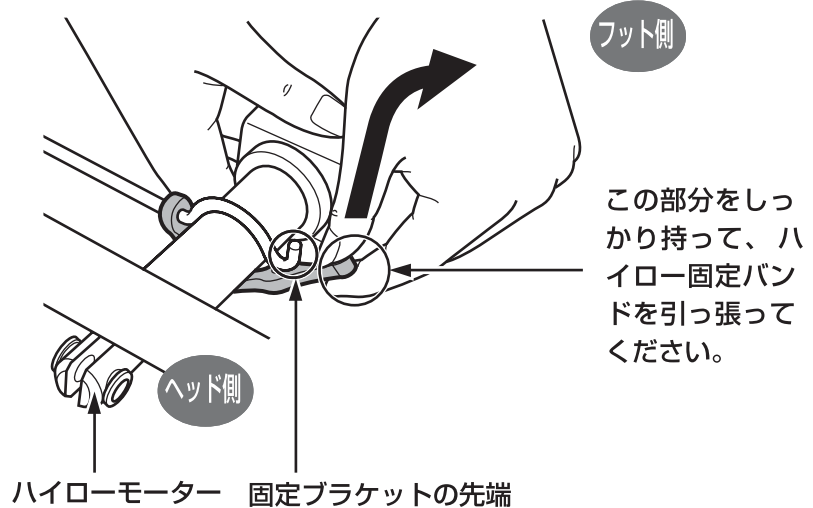
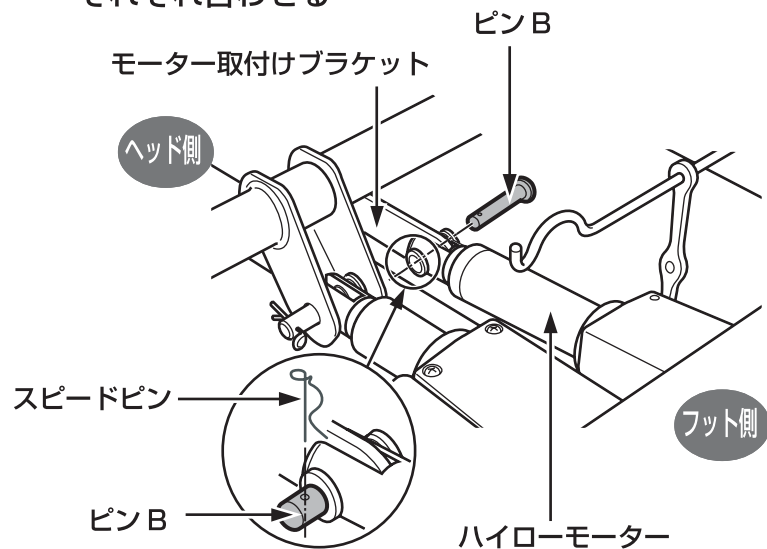
固定ブラケット

モーター取付けブラケット

ヘッド側

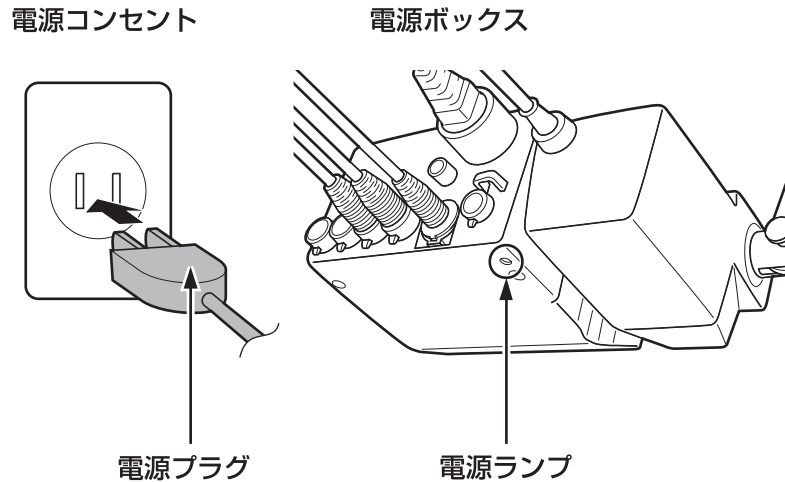
フット側

お願い

事故、破損の原因となります。
ハイローモーターが脱落しないよう必ずハイローモーターを手で支えてください。

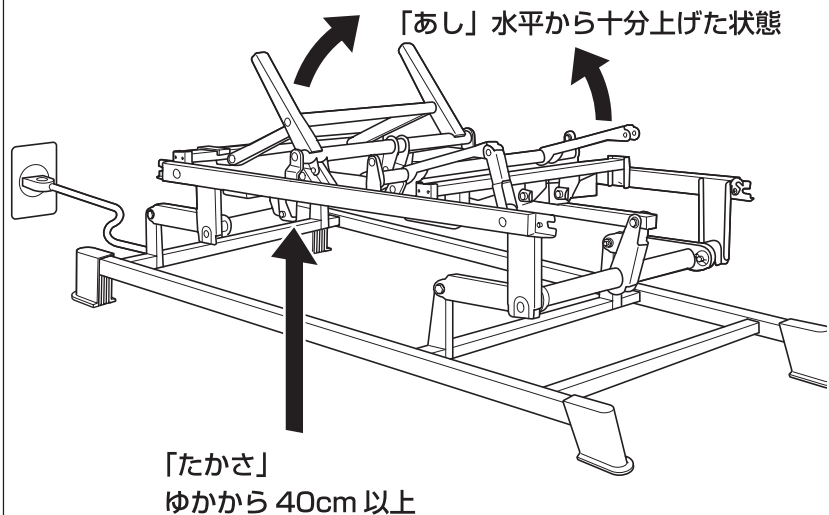
1 ハイロー固定バンドを矢印方向に引っ張って、固定ブラケットの先端から外す

2 モーター取付けブラケットとモーター先端の穴をそれぞれ合わせる

3 ピンBを差し込み、スピードピンを取付ける（上図参照）

4. ベッドの動作を確認する

1 **電源プラグをコンセントに差し込む**

※電源ボックスの電源ランプが点灯します。

2 **手元スイッチのボタンを「あたま」、「あし（3モーターのみ）」、「たかさ」の順に押し、正常に動作するか確認する**

※手元スイッチのボタンを押している間、手元スイッチのランプが点灯します。
詳しくは、「操作（動作）のしかた」（p10～12, p 15）を参照してください。

※確認が終わったら水平に戻してください。

たかさは、十分上げた状態にしておくと、組立てやすくなります。

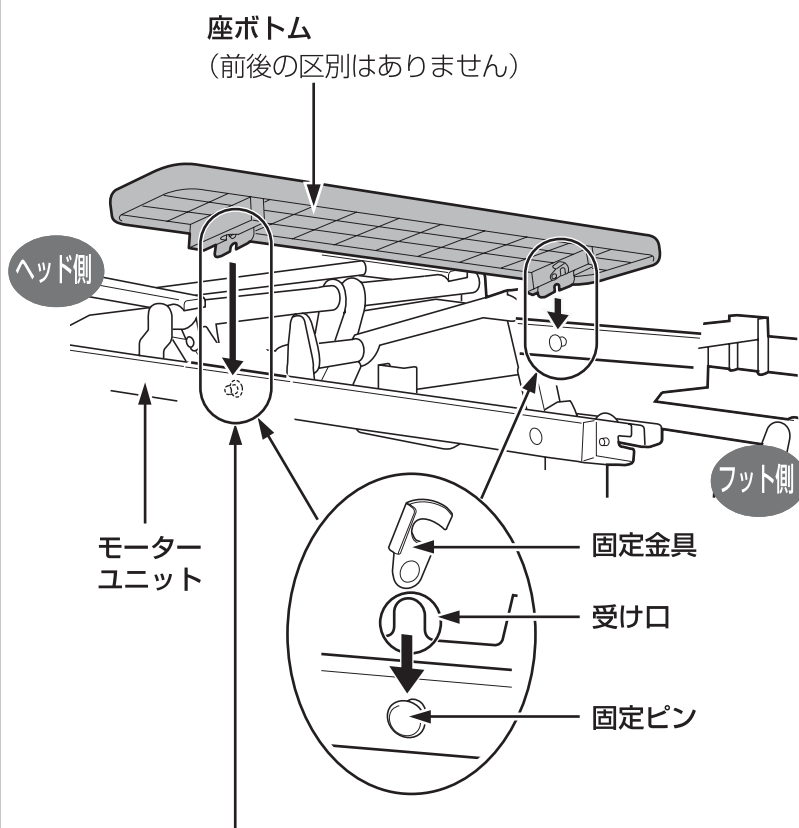
ベッドの組立てかた

この時点で下記の項目を確認してください。

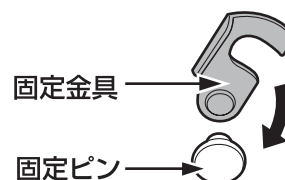
- ●電源ボックスの電源ランプは点灯していますか？
- ●手元スイッチの各種ボタンを押したとき、ランプは点灯していますか？
- ●モーターユニットおよびモーターを取付けたときのピンとスピードピンは確実に差し込まれていますか？
- ●モーターから異常音がしていませんか？
- ●あたま、あし（3モーターのみ）、たかさがスムーズに動作しますか？

以上の項目を確認して、異常がある場合は、もう一度「ベッドの組立てかた」を最初（p18）から見直してください。
それでも直らない場合は、組立てをやめて、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。

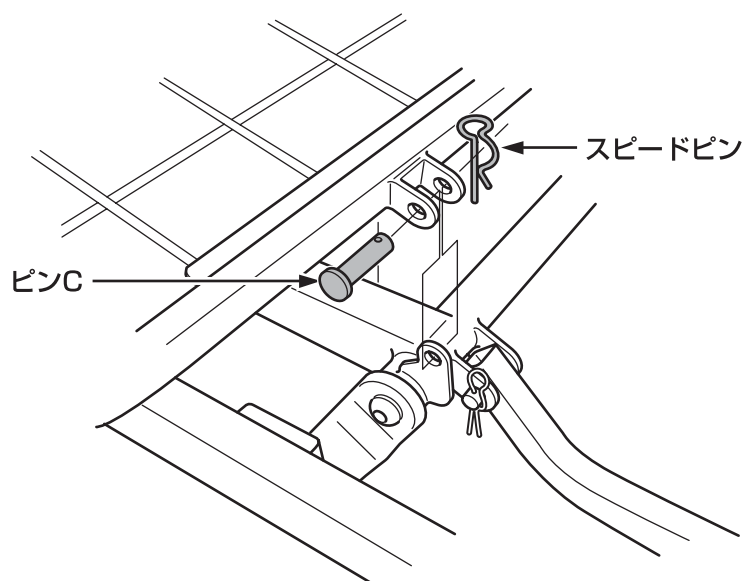
5. 座ボトムを取付ける

1 **座ボトムの受け口が、モーターユニット内側の固定ピンにかみ合うよう、しっかり取付ける**

2 **固定金具を回転させ、固定ピンに固定する**

お願い

事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

6. 背ボトムを取付ける

1 背ボトムを図のように持って、止めブラケットA を止めブラケットBに合わせる

背ボトムの止めブラケットAと止めブラケットB をピンCとスピードピンで固定する。（2ヶ所）

●手元スィッチの「あたま」のあがるボタンを押して、背ボトムをあげます。

お願い

事故、破損の原因となります。
背ボトムの止めブラケットAと止めブラケットBを確実にピンCとスピードピンで固定してください。

ベッドの組立てかた

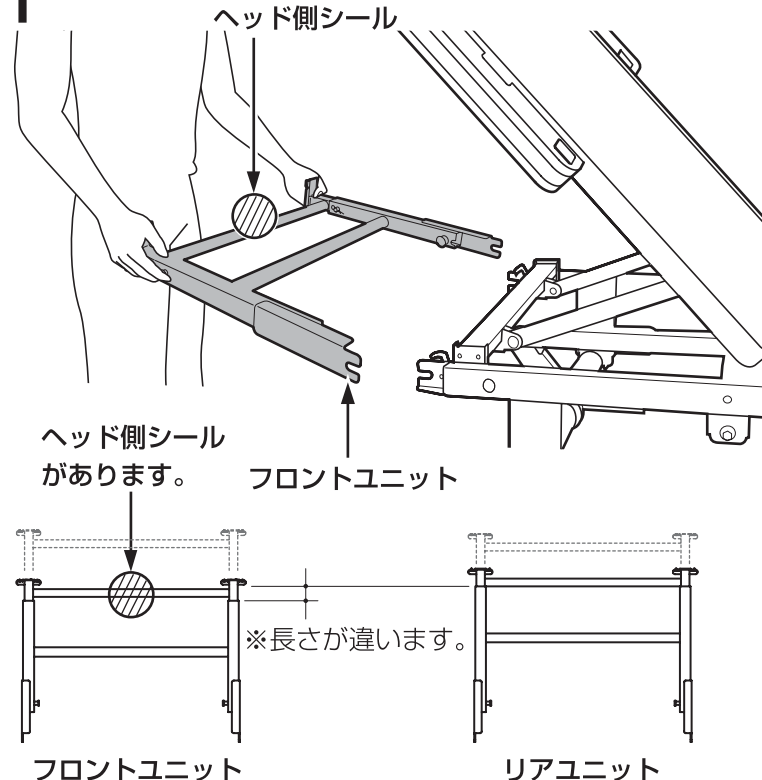
7. フロントユニットを取付ける

お願い

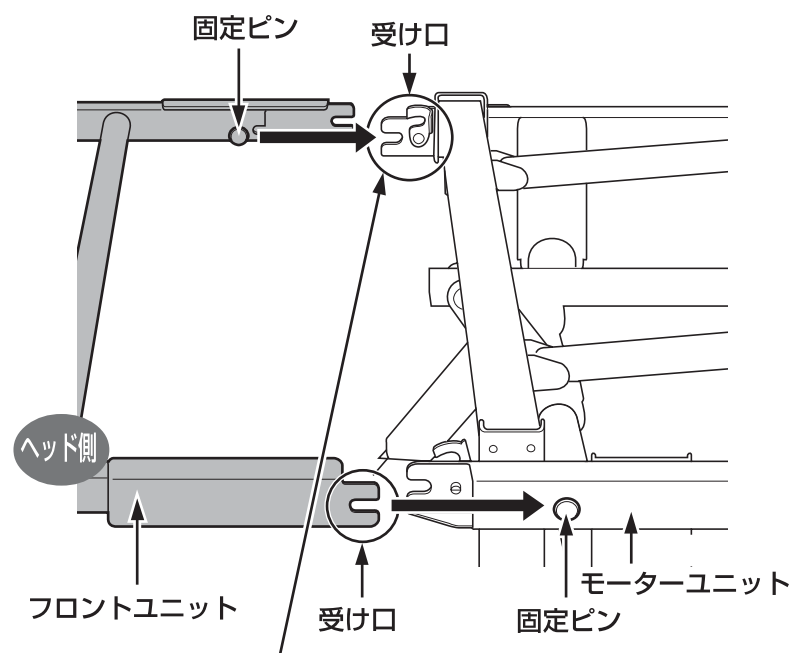
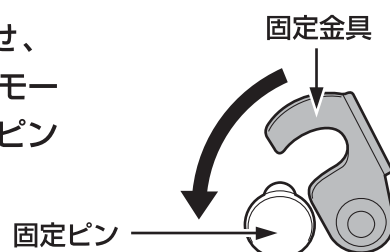
事故、破損の原因となります。
ヘッド側シールを必ず確認してください。

1 フロントユニットを図のように持つ

お願い

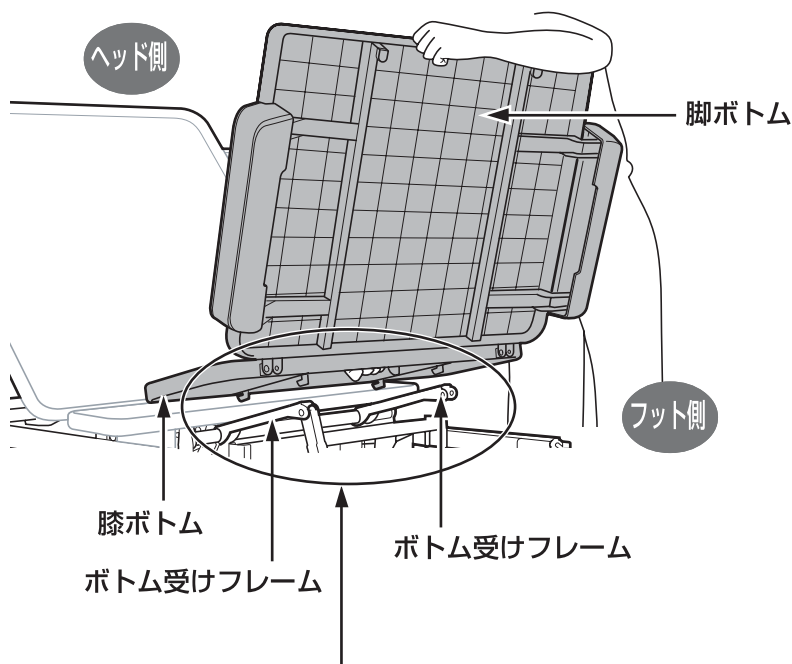
事故、破損の原因となります。
フロントユニットの受け口がモーターユニットの固定ピンに確実に入っているか、必ず確認してください。

2 フロントユニット、モーターユニットのそれぞれの内側、外側の固定ピンと受け口がかみ合うように取付ける

お願い

事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

3 固定金具を回転させ、フロントユニットをモーターユニットの固定ピンに固定する
（左右2ケ所）

8. 膝ボトム・脚ボトムを取付ける

1 膝ボトムと脚ボトムを図のように持つ

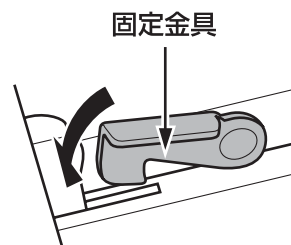
ヘッド側
脚ボトム
フット側
膝ボトム
ボトム受けフレーム
ボトム受けフレーム

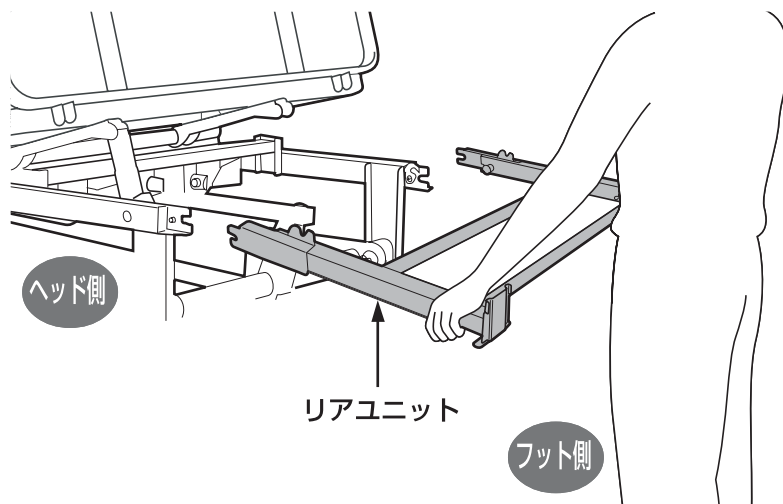
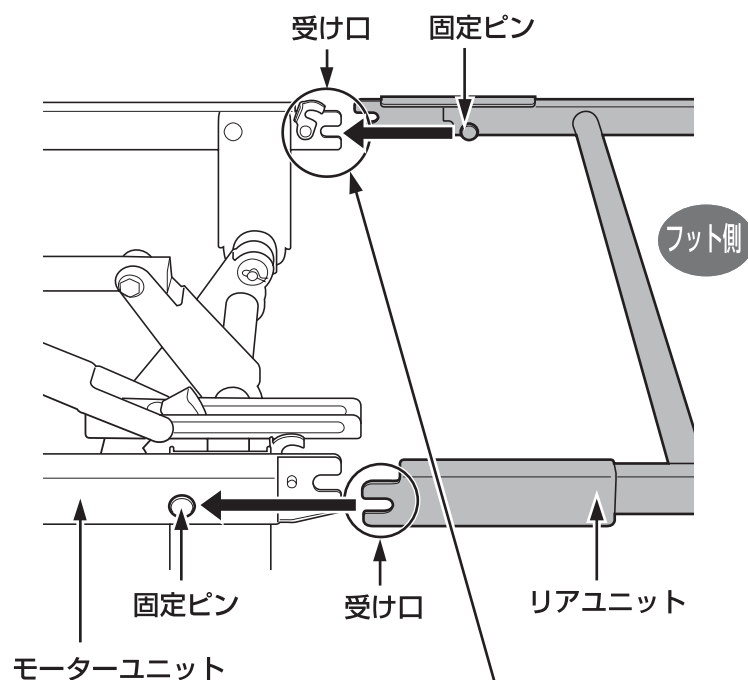
2 膝ボトムの止めフックをボトム受けフレームの固定穴に合わせ、矢印の方向にボトム全体をスライドさせて差し込む（左右4ケ所）

お願い

事故、破損の原因となります。
膝ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に入っているか、必ず確認してください。

3 固定金具を回転させ、ボトム受けフレームの固定穴に固定する
（左右2ケ所）

お願い

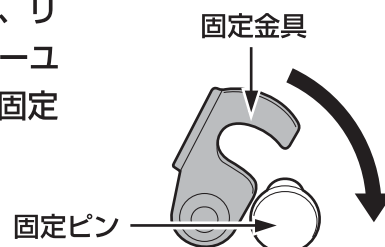
事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

9. リアユニットを取付ける

1 リアユニットを図のように持つ

2 リアユニット、モーターユニットのそれぞれの内側、外側の固定ピンと受け口がかみ合うように取付ける

お願い

事故、破損の原因となります。
リアユニットの受け口がモーターユニットの固定ピンに確実に入っているか、必ず確認してください。

3 固定金具を回転させ、リアユニットをモーターユニットの固定ピンに固定する
（左右2ケ所）

お願い

事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

10. 脚先フレームを取付ける

●脚先フレームはレギュラーとロングサイズで使用する場合に取付けます。

お願い

事故、破損の原因となります。

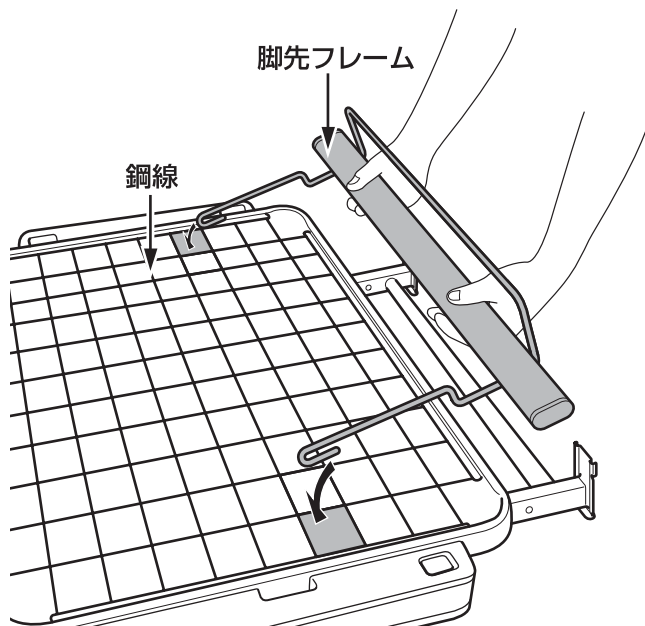
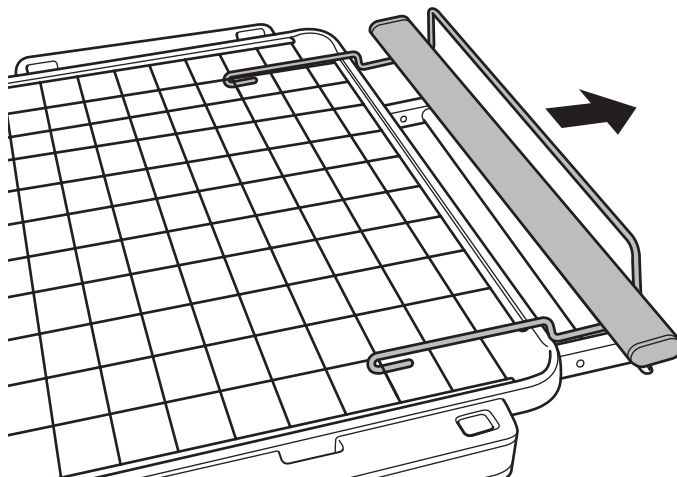
ショートサイズで使用する場合は取付けないでください。
サイズの変更についてはp32を参照してください。

1 脚先フレームのフックを膝・脚ボトムの外側から１個目、フット側から4個目のマスに入れ、鋼線に引っ掛ける

2 脚先フレームを手前に引きながら降ろす

お願い

事故、破損の原因となります。

脚先フレームはしっかりと鋼線に引っ掛けてください。

ベッドの組立てかた

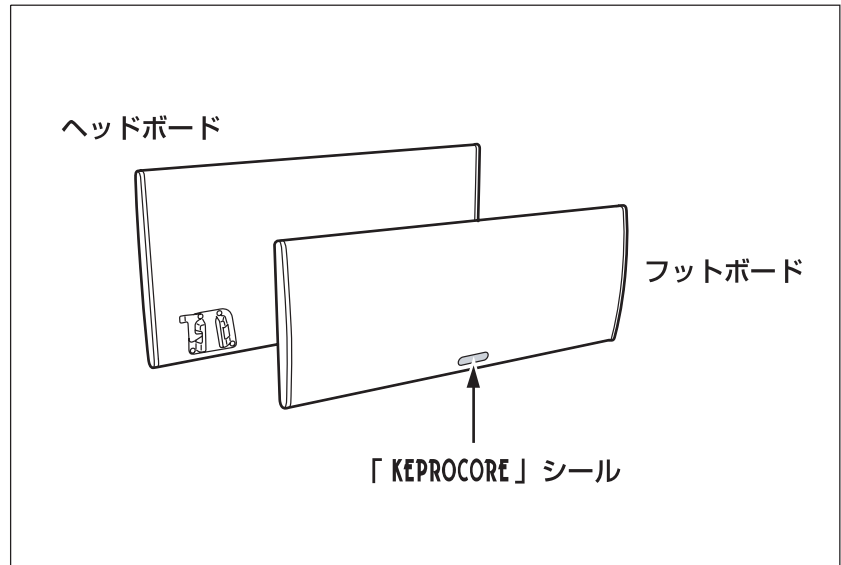
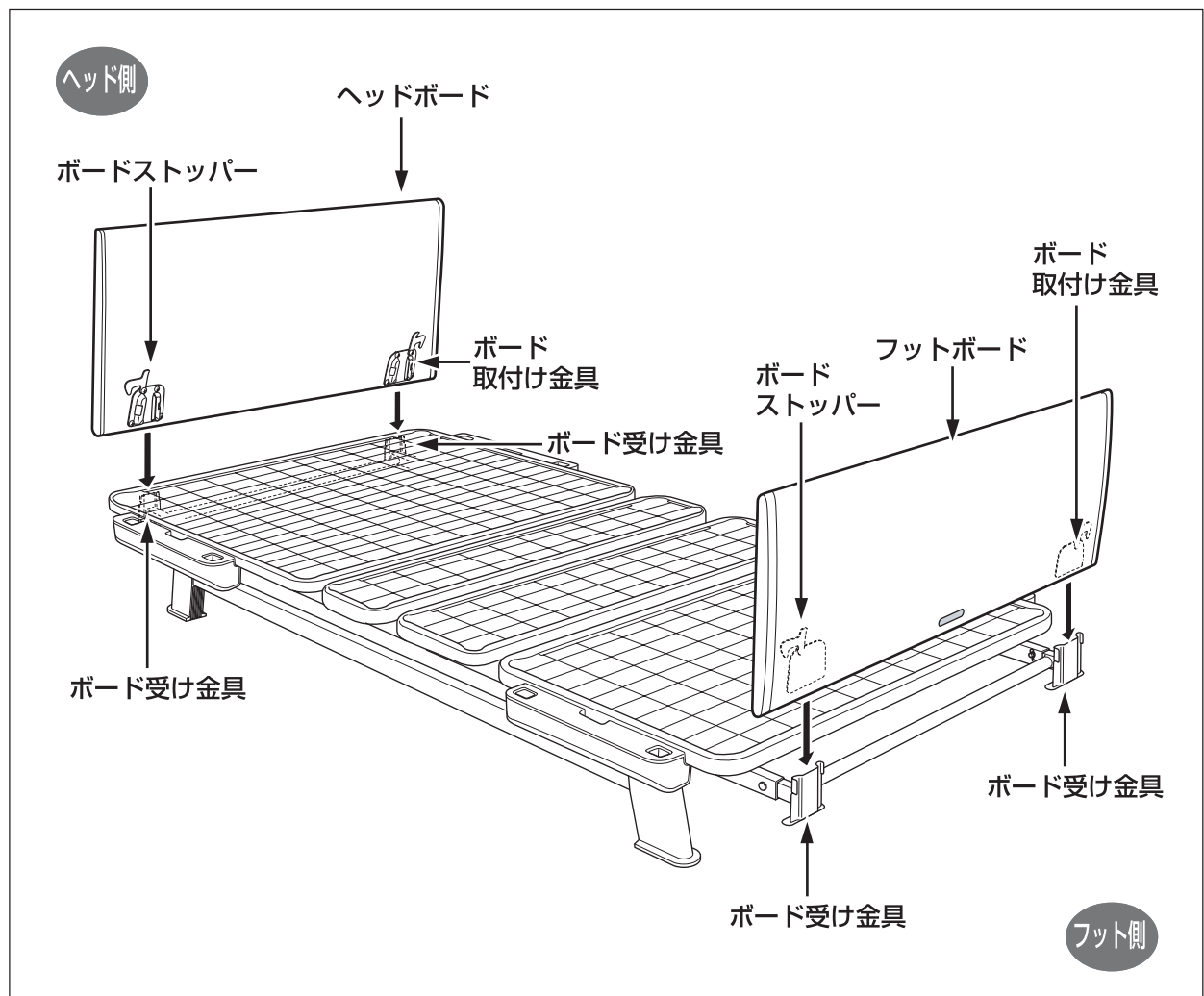
11. ヘッドボード・フットボードを取付ける

●ヘッドボード・フットボードの種類

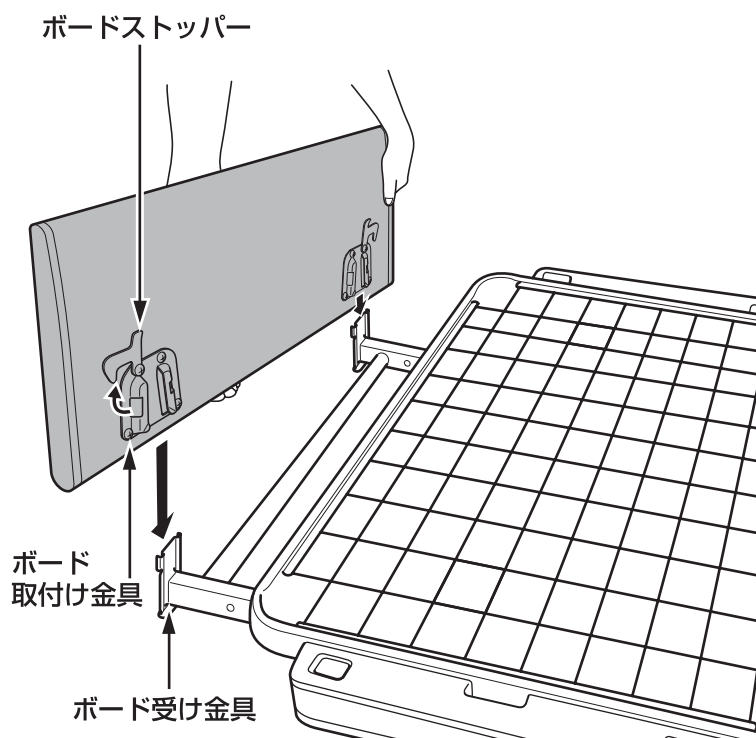
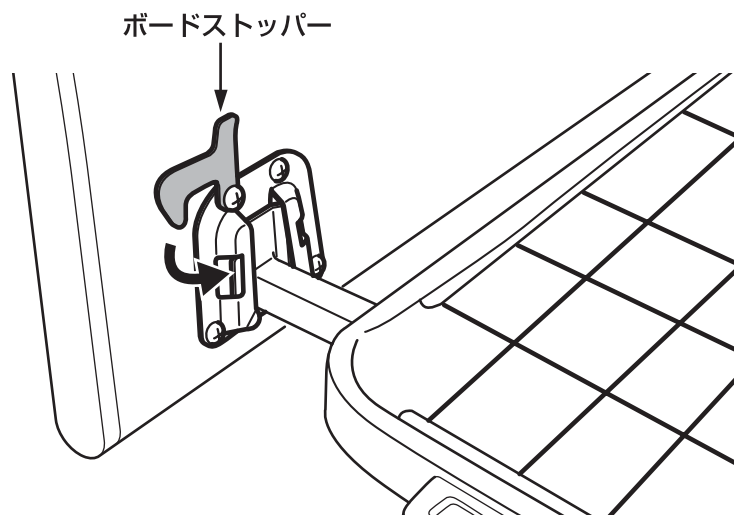
お願い

事故、破損の原因となります。
「KEPROCORE」のシールがある方がフット側のボードです。
間違えないように取付けてください。

●ヘッドボード・フットボードの取付けかた

ヘッド側
ヘッドボード
ボードストッパー
ボード
取付け金具
ボード受け金具
ボード
取付け金具
フットボード
ボード
ストッパー
ボード受け金具
ボード受け金具
ボード受け金具
フット側

お願い

事故、破損の原因となります。
ボードはしっかり最後まで差し込んで確実にボードストッパーで固定してください。

1 ボードのボードストッパーを上げて、図のように持ってボード取付け金具をボード受け金具にしっかり最後まで差し込みます

2 ボードを確実に差し込んだらボードのボードストッパーを下げて、しっかりと止めてください。

警告

●ボードストッパーをかけ忘れたり、かけかたが不完全な場合、ボードがはずれてけがをするおそれがあります。注意してください。

12. マットレス止めを取付ける

ベッドをお使いになる方に合わせて取付け位置を決めてください。

取付け位置参考例

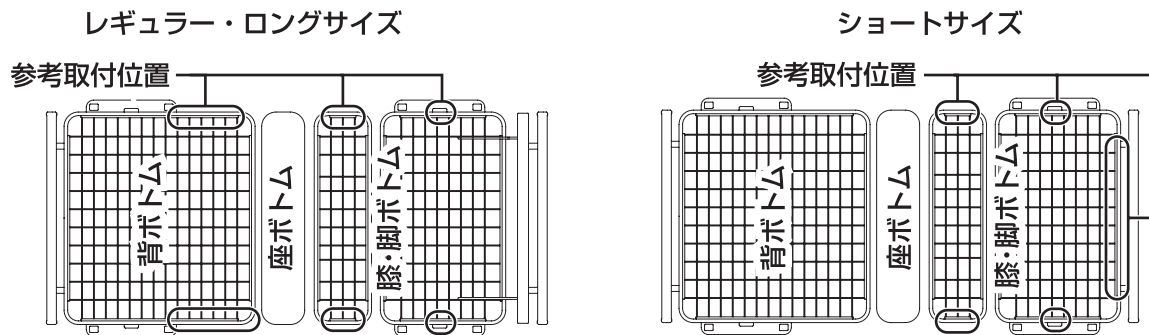
レギュラー・ロングサイズ

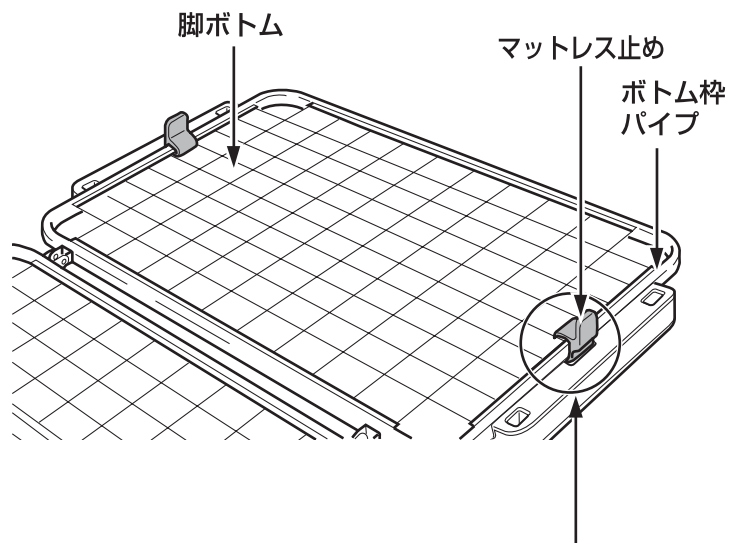
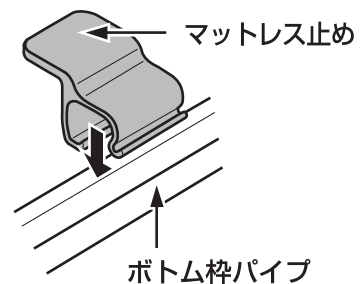
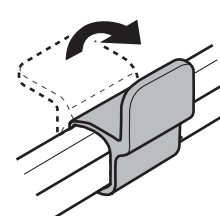
参考取付位置

背ボトム　座ボトム　膝・脚ボトム

ショートサイズ

参考取付位置

背ボトム　座ボトム　膝・脚ボトム

●事故、故障を防ぐために

※座ボトムへのマットレス止めは、ベッドへの乗り降りの邪魔になるため、取付けはおすすめできません。

1 マットレス止めをボトム枠パイプに差し込む

2 取付けたマットレス止めを矢印方向に回転させ、ボトム枠パイプに固定します

組立て後の点検

ベッドの組立てが終了したら、以下の項目にそって点検（v）してください。

●事故、破損を防ぐために

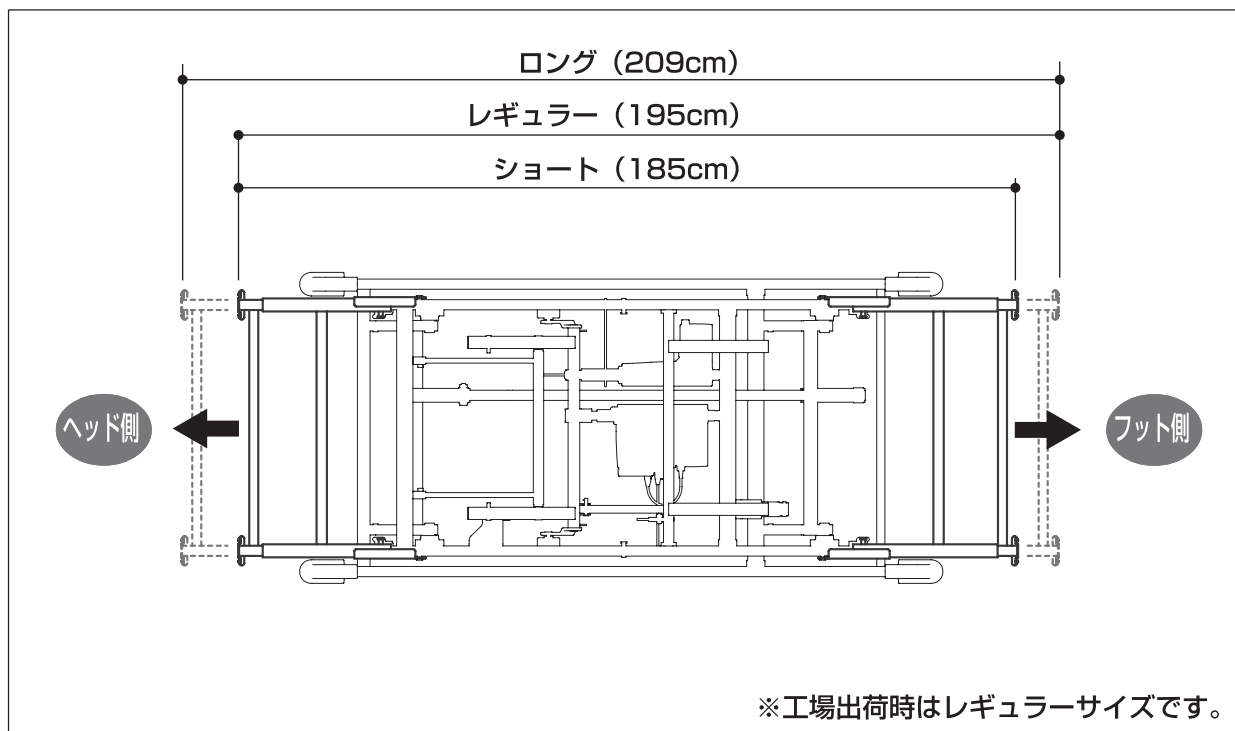
手元スイッチで操作しながら点検をしている際に、異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用をやめて、当社か販売店にご連絡ください。

	点 検 項 目	参照先	チェック
1	**モーターユニットの取付け**		
	1. モーターユニットは、ハイローベースユニットに確実にのっていますか？	p19	
	2. モーターユニットとハイローベースユニットのヘッド側のシールの向きは合っていますか？		
	3. ピンAとスピードピンは、確実に差し込まれていますか？		
2	**モーターの取付け**		
	1. ピンBとスピードピンは、確実に差し込まれていますか？	p20	
3	**座ボトムの取付け**		
	1. 座ボトムは、固定金具で確実に固定されていますか？	p22	
4	**背ボトムの取付け**		
	1. 背ボトムの止めブラケットAと止めブラケットBをピンCとスピードピンで確実に固定されていますか？	p23	
5	**フロントユニットの取付け**		
	1. フロントユニットは、モーターユニットに確実に取付けられていますか？	p24	
	2. フロントユニットは、固定金具で確実に固定されていますか？		
6	**膝ボトム・脚ボトムの取付け**		
	1. 膝ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に差し込まれていますか？	p25	
	2. 膝ボトムは、固定金具で確実に固定されていますか？		
7	**リアユニットの取付け**		
	1. リアユニットは、モーターユニットに確実に取付けられていますか？	p26	
	2. リアユニットは、固定金具で確実に固定されていますか？		
8	**電源（ベッドと手元スイッチ）について**		
	1. ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。このとき、電源ボックスの電源ランプは点灯していますか？	p21	
	2. ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。このとき、手元スイッチのボタンを押すと、手元スイッチのランプは点灯していますか？		
9	**操作（動作時）について**		
	1. 手元スイッチのボタンを押して、「あたま」、「あし（3モーターのみ）」、「たかさ」がスムーズに作動しますか？	p10〜p15	
	2. モーターから異常音がしませんか？		
	3. 手元スイッチのボタンを押して、背ボトムを上げたとき、周囲の家具などにあたりませんか？	p21	
	4. 手元スイッチのボタンを押して、高さを昇降させたとき、周囲の家具などにあたりませんか？		

※以上の項目を点検しても異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。

モジュールの変換について

●お使いになる方に合わせてサイズが変更できます。

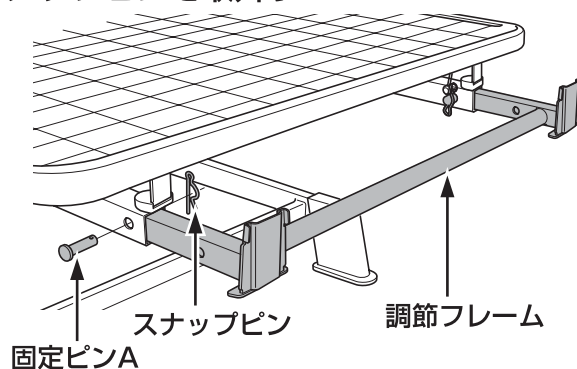
※工場出荷時はレギュラーサイズです。

●レギュラーサイズ（工場出荷時）からショートサイズへ変換する場合、リアユニットで調節できます。

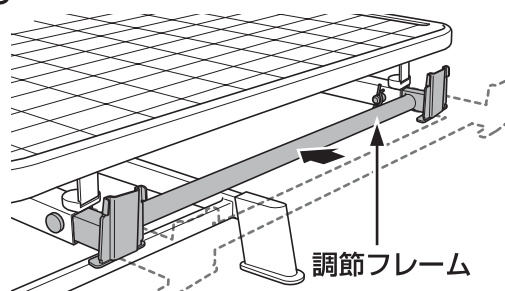
お願い

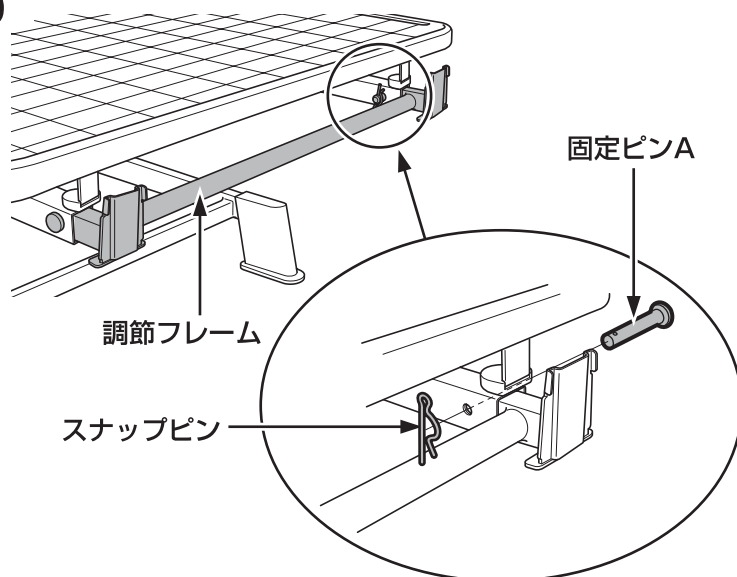
事故、破損の原因となります。
固定ピンAとスナップピンはしっかり差し込んで確実に固定してください。

1 フットボードのボードストッパーを上げてフットボードをp28～29を参照して取外します

2 脚先フレームをｐ27を参照して取外します

3 リアユニットを取付けているピンAとスナップピンを取外す

4 調節フレームを持って次のピン穴まで奥に押し込みます

お願い

事故、破損の原因となります。
固定ピンAとスナップピンの向きに注意して確実に固定してください。

5 ③で外した固定ピンAとスナップピンで取付ける

6 フットボード（p28～29を参照）とマットレス止（p30を参照）を取付けてください

モジュールの変換について

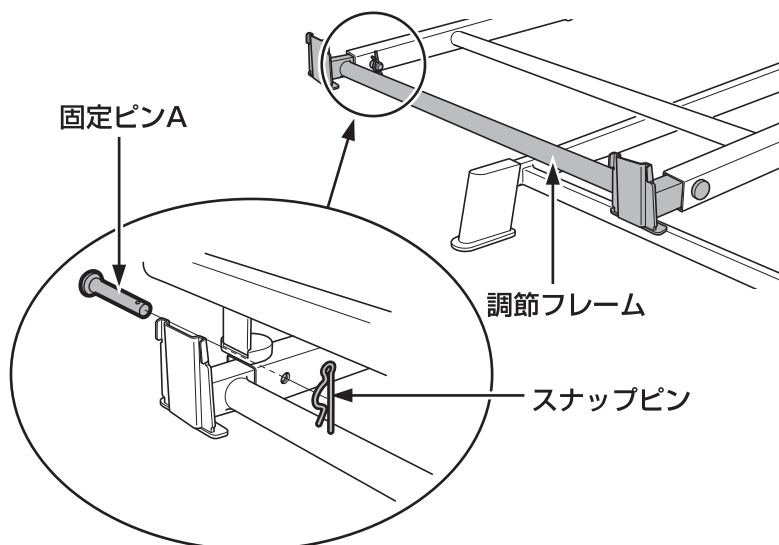
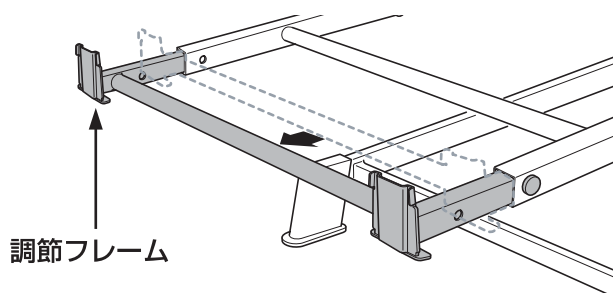
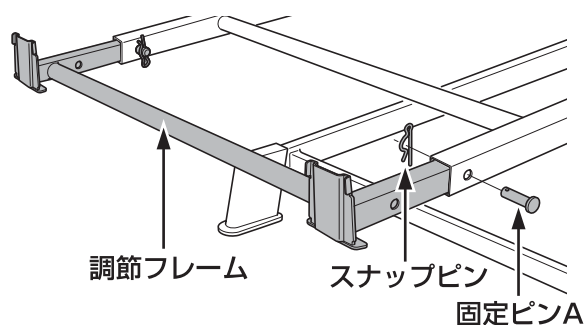
●レギュラーサイズ（工場出荷時）からロングサイズへ変換する場合、
フロントユニットで調節できます。
別売の背ボトム（ロング）が必要になります。

お願い

事故、破損の原因となります。
固定ピンAとスナップピンはしっかり差し込んで確実に固定してください。

1 ヘッドボードのボードストッパーを上げてヘッドボードをp28～29を参照して取外します

2 背ボトムをｐ23を参照して取外します

3 フロントユニットを取付けているピンAとスナップピンを取外す

4 調節フレームを持って次のピン穴まで手前に引き出します

5 ③で外した固定ピンAとスナップピンで取付けます

6 背ボトム・ロング（別売）をp23参照して、ヘッドボードをp28～29を参照して取付けます

お願い

事故、破損の原因となります。
固定ピンAとスナップピンの向きに注意して確実に固定してください。

マットレスの使用方法

●ベッドの性能を最大限いかすため、必ず守ってください

※このベッドには、必ず弊社製品のマットレス（幅・シングル90cm）をお使いください。
※他社のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなくベッドに負担をかけ故障の原因になります。
※スプリングマットレス、ウォーターマットレスはご使用できません。

●支援用具があれば日常生活が可能な方に適応

MB-2500 ダブルウェーブマットレス（シングル90cm）
MB-2250 ダブルウェーブマットレス･スリム（シングル90cm）

- 腰をかけたとき、手をついたときの沈み込みが少なく、安定性と体圧分散性に優れています。
- 独自のダブルウェーブ構造によりベッドの動きに合わせてしなやかに曲がります。
- 体圧を維持する適度な硬さと長時間の使用にもへたりがありません。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- 上下・裏表の区別はありません。マットレスの厚さはMB-2500が8cm、MB-2250は5.5cm。

●マットレス表面が硬さの異なるリバーシブル仕様のマットレス

RM-100 リバーシブルマットレス（シングル90cm）

- ソフトフェース面は、全体的に柔らかく身体に優しくフィットして自然な寝姿勢を保つことができます。
- ハードフェース面は、全体的に硬めで不自然な身体の沈み込みを抑えて寝返り時の安定性に優れています。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく清潔さを保てます。

●プロファイル面とソフト（フラット）フェース面を好みに応じて使い分けることができるマットレス

RM-200 リフレケアマットレス（シングル90cm）

- プロファイルフェース面は、特殊加工により耐圧分散効果ならびに双方向の通気性効果を高めています。
- フト（フラット）フェース面は、全体的に柔らでフラット上に仕上げていますので、底つき感がなく身体に自然にフィットします。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく清潔さを保てます。

●起き上がりや立ち上がりになどの基本動作に人的支援が必要な方に適応

K-160 ソフトウェーブマットレス（シングル90cm）

- 関節などに痛みがあり、硬いマットレスでは寝返りできない方に適応します。
- プロファイル加工により、身体との接触面が小さく身体の部位ごとの圧迫を軽減します。
- マットレス全面に90ケ所（背中、押しリブに集中）の通気孔があり、ムレや湿気を緩和します。

●生活動作全体で人的支援が必要な方に適応

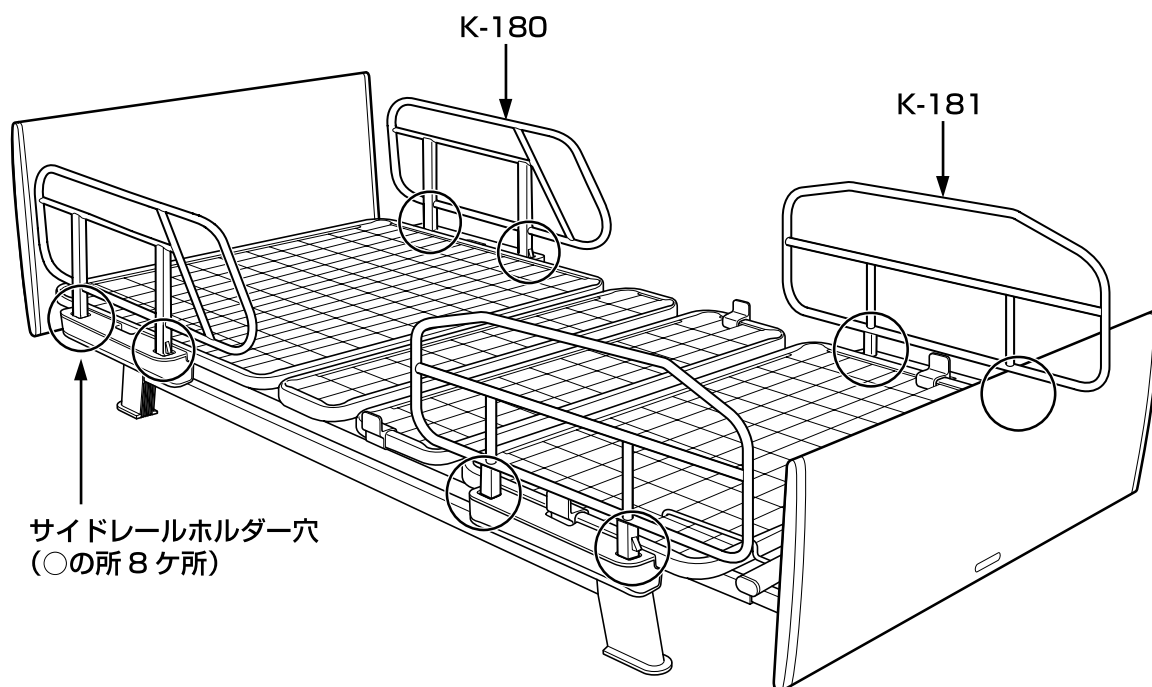
K-155 ニュープリアントEXマットレス（シングル90cm）

- 優れた通気性・通水性と超体圧分散性を実現する、特殊低反発2層構造の理想的な介護用マットレス。
- プロファイル加工により、身体との接触面が小さく身体の部位ごとの圧迫を軽減します。
- 通気性・通水性に優れた特殊ウレタンフォームの採用により、水洗いが可能です。
- ベッドからの立ち上がりや端座位をとったときに、マットレスの縁が崩れないように外周部に硬いめのウレタンフォームを使用しています。

オプションの取付けかた

サイドレールを取付ける

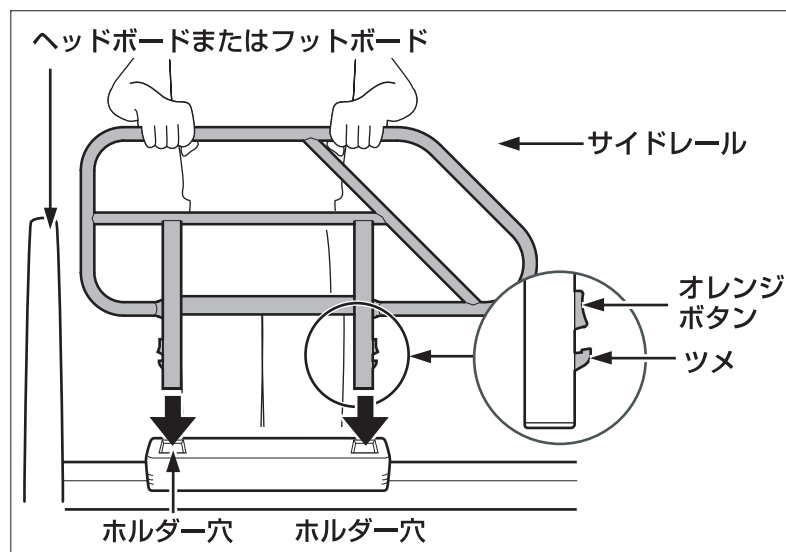
ベッド両側のサイドレールホルダー穴を利用してサイドレールが使用できます。
安全のため、使用者が転落するおそれがある場合などにはサイドレールをご使用ください。

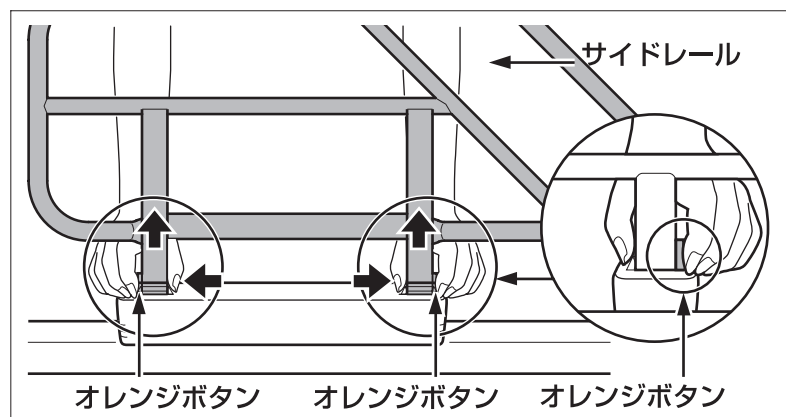
●オプション間のすき間やサイドレールとヘッド・フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。隙間に入ると抜けなくなり、ケガをするおそれがあります。
●各サイドレールに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。

●適合するサイドレール、ベッドへの取付け位置は右の図表を参照して正しく取付けてください。
※サイドレールは、ベッドのサイズに合わせてお選びください。

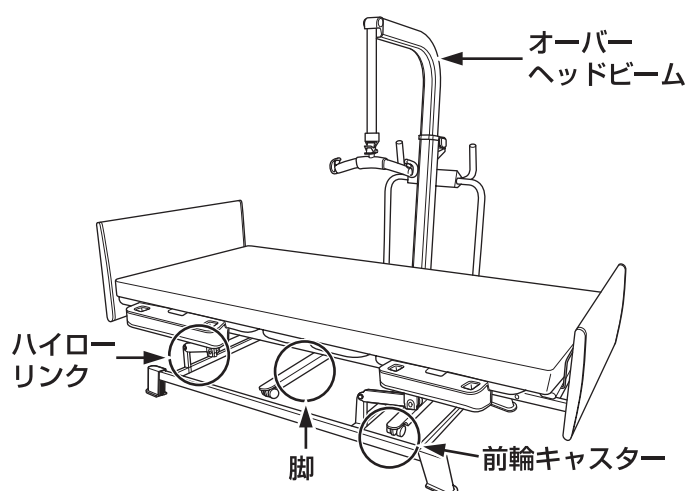
ベッドサイズ	あたま側	ベッドの取付け位置	あし側
レギュラー	K-180 K-123DB	750 (K-180)　765	K-181
ショート	K-180 K-123DB	750 (K-180)　750 (K-180)	K-180
ロング	K-180 K-123DB	750 (K-180)　765	K-181

●サイドレールは、ホルダー穴に「カチッ」と音が鳴るまでまっすぐに差込んで取付けてください。取付けが不完全な場合、つかまったときに転倒してケガをする恐れがあります。
●サイドレールは、ベッドのサイズに合わせてお選びいただき、正しい取付け位置でご使用ください。

●取付けかた

サイドレール上部を持ち、ホルダー穴に「カチッ」と音がするまで差し込む

●取外しかた

サイドレールのオレンジボタンを指で押しながら、引き抜く

介護リフト使用時のご注意

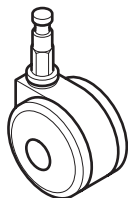
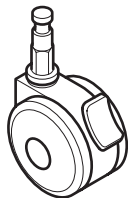
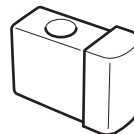
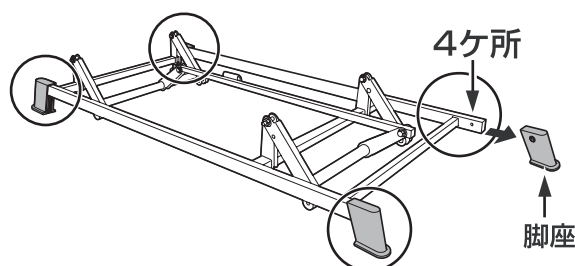
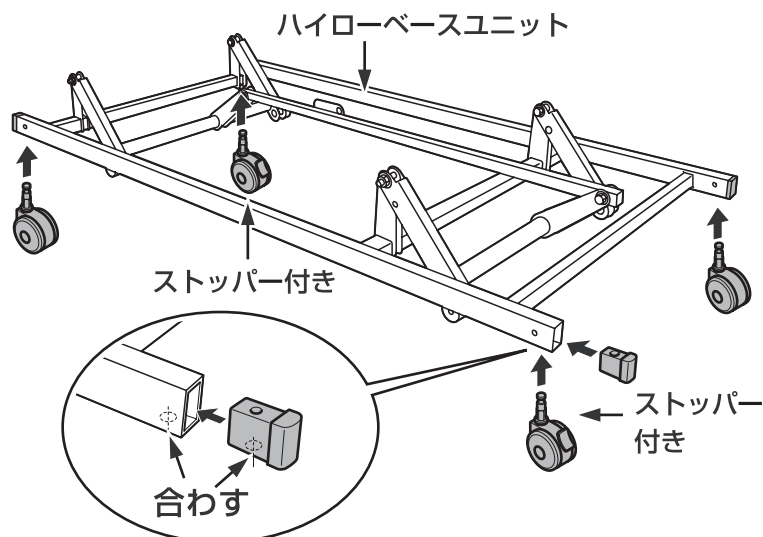
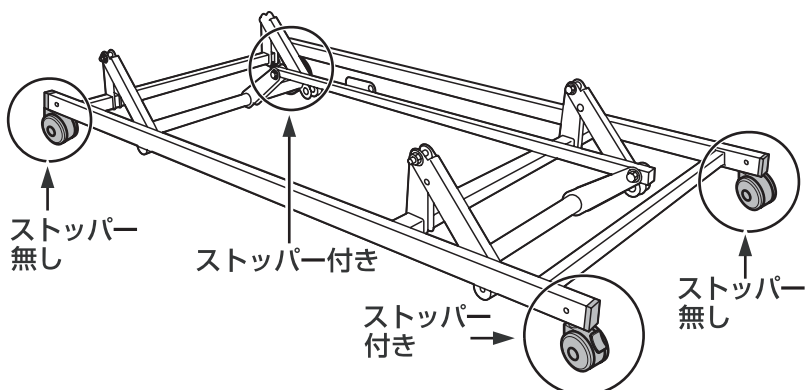
下記の床走行式電動介護リフトが使用できます。歩行訓練用万能リフト「ゴルボ」の使用を推奨いたします。

警　告

- ●床走行式電動介護リフトに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
- ●ベッドをあげるとき、オーバーヘッドビームをさげるときは、ベッドとブームの間にはさまれてけがをするおそれがありますので、十分注意してください。
- ●ベッドの高さをさげるときは、ハイローリンクに脚や前輪キャスターをはさまないように注意してください。はさまれるとけがや破損のおそれがあります。

オプションの取付けかた

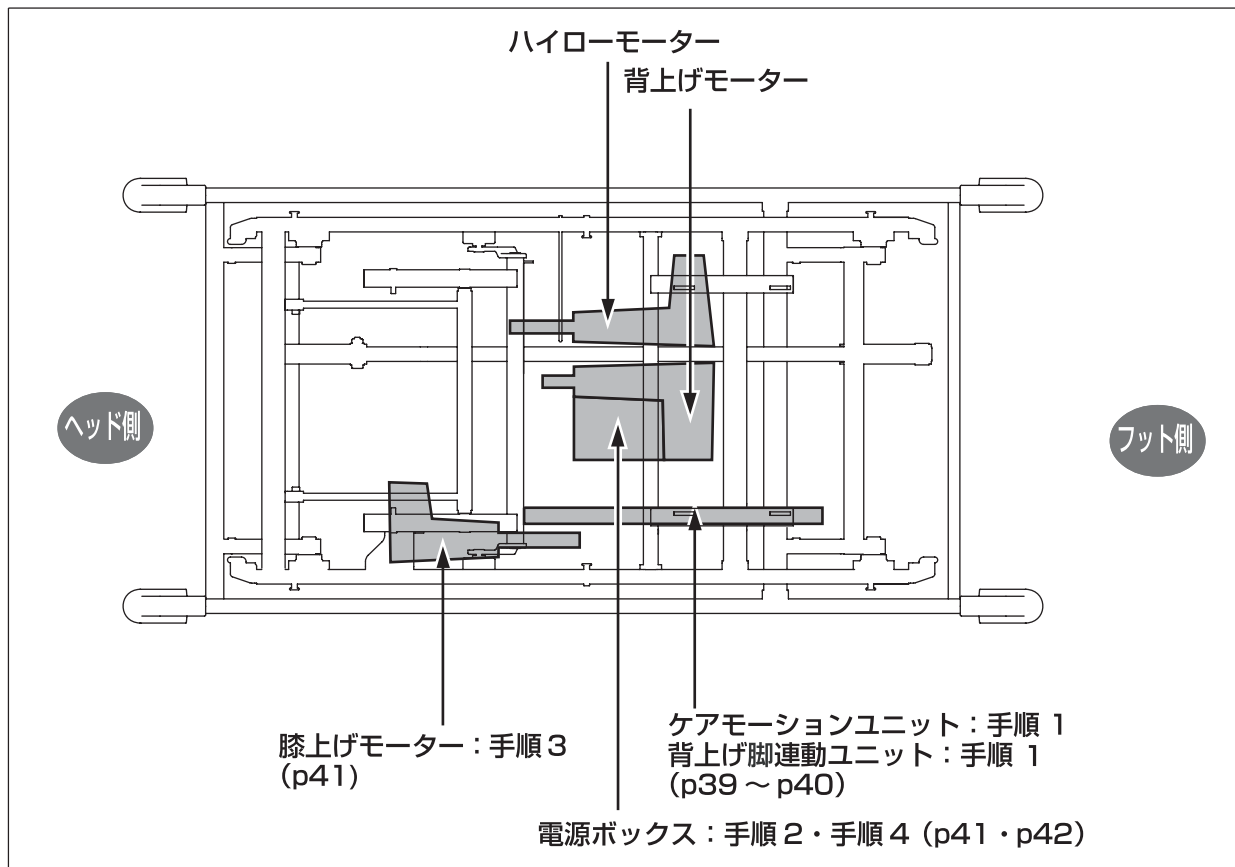
キャスター（K-126）を取付ける

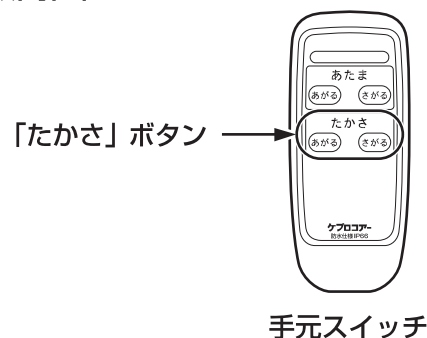
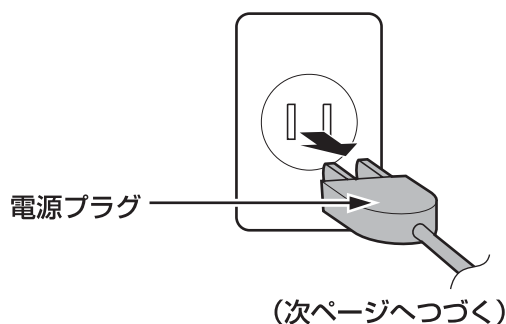
キャスターは、ストッパー付きと無しの2種類があります。

● キャスター
ストッパー無し（2個）

● キャスター
ストッパー付き（2個）

● キャップ（4個）

1 ハイローベースユニットの脚座を取外す
※取外し方はp18を参照してください。

2 ベースフレームの先端に、キャップの穴が大きい方を下にして差し込みます。キャップとベースフレームの穴の位置を確実に合わせてください。

3 ストッパー付きと無しのキャスターが対角になるように取付ける

お願い

事故、破損の原因となります。
キャスターはしっかりと確実に差し込んでください。

2モーターから3モーターへの交換

●**位置関係図**（ベッドを上から見たイラストです。）

1. ケアモーションユニット又は背上げ脚連動ユニットを取外す

1 手元スイッチの「たかさ」のボタンを押してベッドの高さを最高位置まで上げる

2 電源プラグをコンセントから抜く

（次ページへつづく）

お願い

事故、感電の原因となります。
必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

2モーターから3モーターへの交換

※脚連ピンAと脚連ピンB
の原寸図

●脚連ピンA

●脚連ピンB

3 取付けのページを参考にして、座ボトムと膝ボトム・脚ボトムを取外す（下記参照）

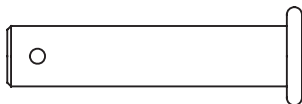
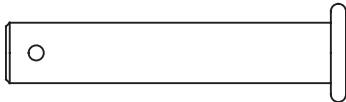
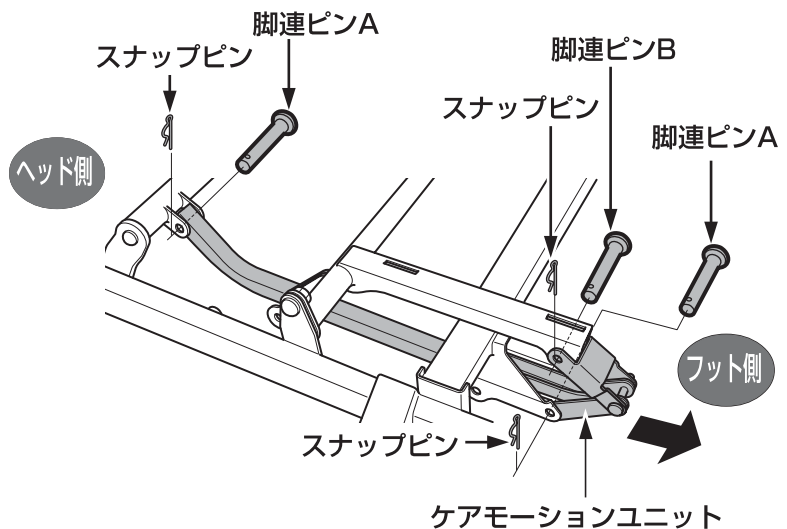
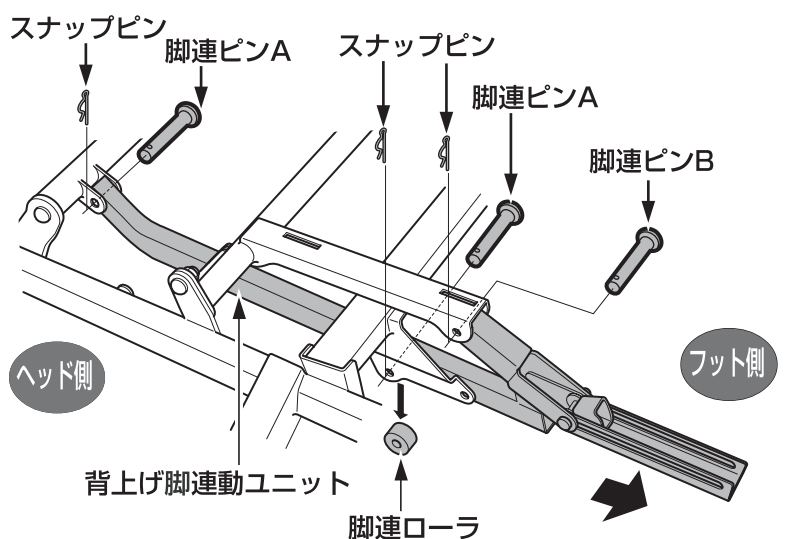
●座ボトムの取外し

「5. 座ボトムを取付ける」（p22）を参照

●膝ボトム・脚ボトムの取外し

「8. 膝ボトム・脚ボトムを取付ける」（p25）を参照

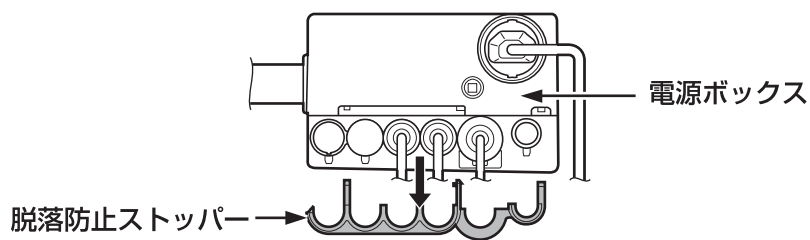
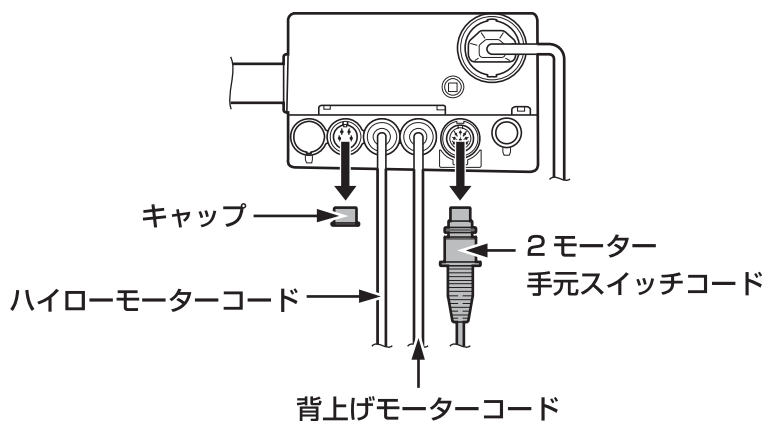
4 脚連ピンA(2本)と脚連ピンB(1本)とスナップピン(3本)を取外す。

※スナップピンはラジオペンチなどで取外してください

●K-620A

●K-620B

5 ケアモーションユニットと背上げ脚連動ユニットを矢印方向（フット側）に引き抜く（上図参照）

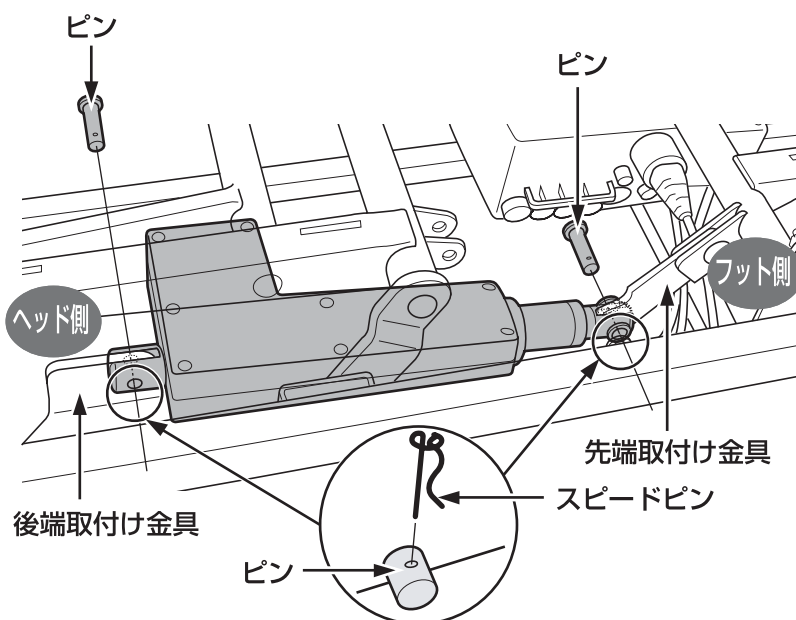
2. 電源ボックスのコードを取外す

お願い

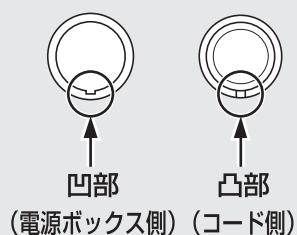
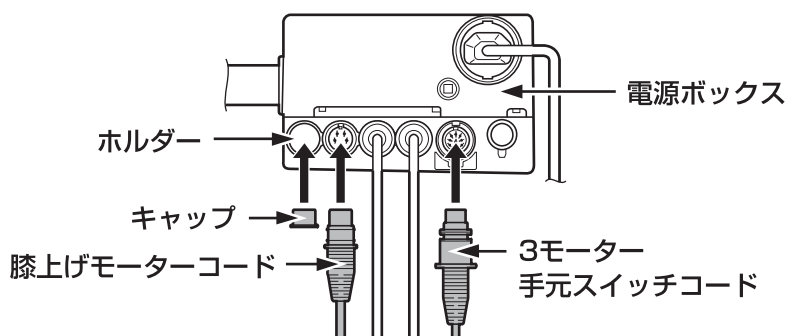
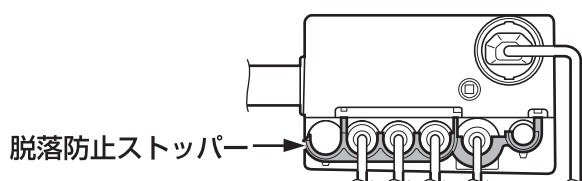
事故、感電の原因となります。
電源コードのプラグをコンセントから必ず抜いて作業を行ってください。

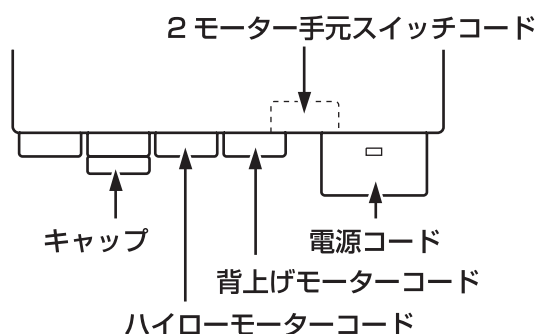
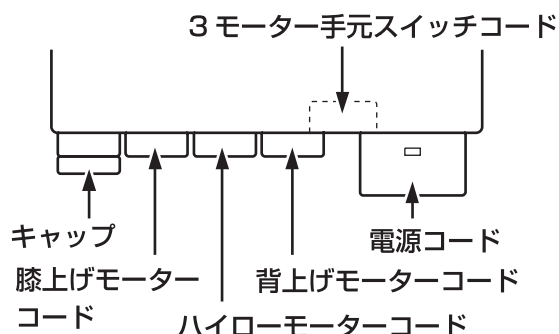
1 脱落防止ストッパーを取外す

2 2モーター手元スイッチコードとキャップを取外す

3. 膝上げモーターを取付ける

1 膝上げモーターの先端がフット側に向くよう、先端取付け金具に付属のピンとスピードピンを取付ける

2 膝上げモーターの後端と、後端取付け金具に、付属のピンとスピードピンを取付ける

4. 電源ボックスへコードを取付ける

お願い

手元スイッチとモーターコードを差し込むときは、凸部と凹部を合わせて差し込んでください。

1 コード類を電源ボックスに取付ける
※3モーター手元スイッチコード
※膝上げモーターコード
※外しておいたキャップをなくさないよう、左端のホルダーにはめる

2 脱落防止ストッパーを取付ける

3 ベッドの操作を確認する
「4. ベッドの動作を確認する」（p22）を参照

●コード類の差込位置（電源ボックスを上から見たイラストです。）

2 モーターはキャップを必ず取付けてください

3モーターから2モーターへ交換する場合は、電源ボックスに備え付けられていたキャップを必ず「膝上げモーターコード」の取付け口に取付けてください。

日常のお手入れ

1 お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜く

2 柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭く

3 乾いた柔らかい布で拭き取る

ベッドに直接水をかけないでください。
ショート、感電、錆や故障の原因となります

必ず水で薄めた中性洗剤を使ってください。
揮発性のもの（シンナー、ベンジン、アルコール、アセトン）などは絶対に使用しないでください。
本体が変色したり、塗装がはがれたりします。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の項目をチェックしてください。

症状	チェック	処置	参照先
電源ボックスのランプが消えている	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	p21
	コンセントに電源（電流が流れている）はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。	—
手元スイッチを押してもランプが点灯しない	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	p21
	コンセントに電源（電流が流れている）はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認しみてください。	—
	手元スイッチコードが電源ボックスから外れていませんか？	手元スイッチコードを電源ボックスに差し込んでください。	p42
	長時間連続で操作していませんか？	２０～３０分後に操作してください。	p10
ボトム、ベッドの高さが上がらない	ベッド周辺、可動部に障害物がありませんか？	障害物を取り除いてください。	—

それでも直らない場合は、ベッドの使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

緊急時の背下げ操作（停電・故障時などの対応）

電動在宅ケアベット和夢“雅”は、背ボトムが上がっている状態で、停電などの緊急時に背ボトムが下げられなくなった場合に手動で背ボトムを下げることができます。

警告

●事故、破損を防ぐために
危険防止のため、お二人で作業されることをお勧めします。
スナップピンを外す際にはラジオペンチやプライヤーを使用してください。

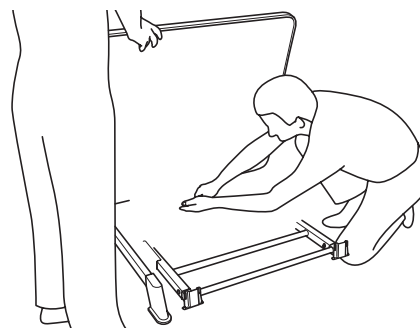
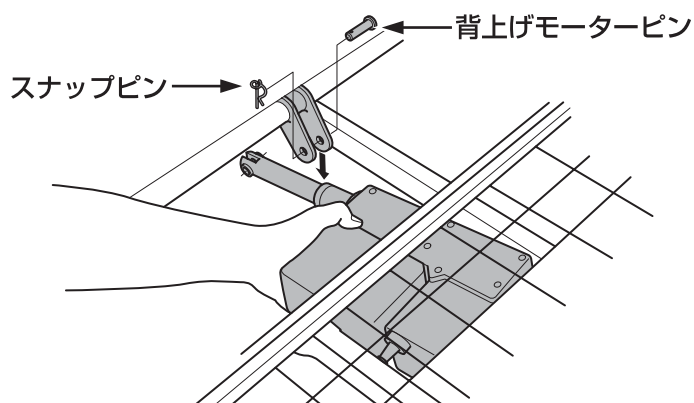
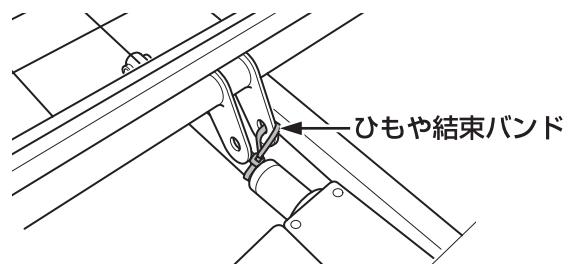
お願い

事故、破損の原因となります。荷重がすべて背ボトムかかりますので危険です。必ず手で支えてください。

外した背上げモーターピン、スナップピンは背ボトムを元に戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。

●電力が回復したら以下の手順でベッドをもとの状態に戻してください。

1.電源プラグをコンセントから抜く
2.療養されている方と寝具をベッドから降ろす
3.作業をしやすくするため、ヘッドボードをはずす
4.背ボトムを手で支え上に上げる
5.コードバンドを外す
6.背上げモーターピンとスナップピンを取り付ける
7.背ボトムを手で支えながら降ろす
8.p31の「組立て後の点検」に従い点検を行ってください
9.ヘッドボードを取り付け、寝具、療養されている方をベッドに戻す

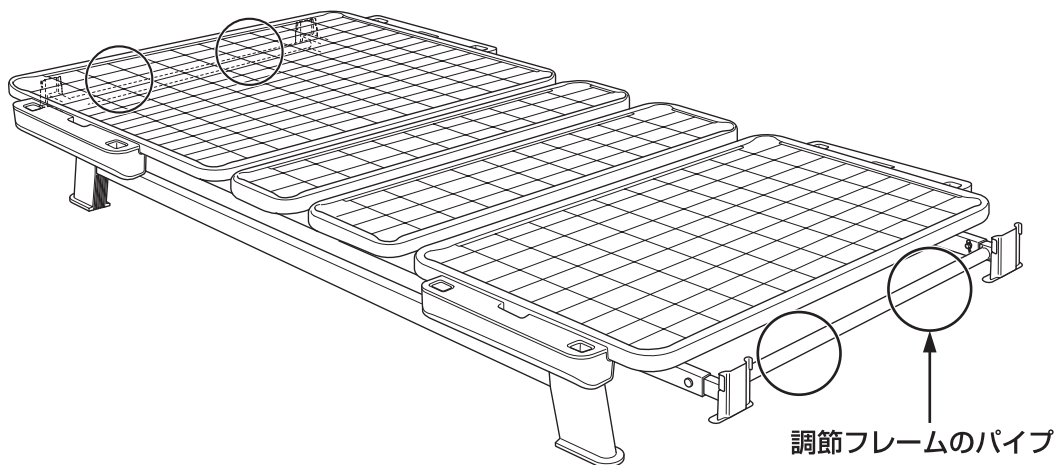
1.電源プラグをコンセントから抜く
2.療養されている方と寝具をベッドから降ろす
3.作業をしやすくするため、座ボトムとヘッドボードを取外す
4.背ボトムが落下しないように手で支える

5.背上げモーターが落下しないように手で支えて背上げモーターピンとスナップピンを取り外す

6.背上げモーターをひもや結束バンドで止める

7.背ボトムを手で支えながら降ろす
8.ヘッドボードを取り付け、寝具、療養されている方をベッドに戻す

保管と移動

●保管について
組立てが終わった状態で保管する場合

※高温、多湿、ほこりの多い場所は避けてください。
※「あたま」「あし（3モーターのみ）」「たかさ」は手元スイッチで操作して最低位置まで下げてください。
※変形しますので、マットレスの上には物をのせないでください。
※立て掛けたり、横倒しにしないでください。
※取扱説明書は大切に保管してください。
※お使いになる場合には、「組立て後の点検」（p31）に従って点検してください。

●移動について
組立てが終わった状態で移動する場合

※背中、腰を痛めないように二人以上で運んでください。
※ベッドで療養されている方は移動していただき、寝具、マットレス、オプション（サイドレールなど）は取外してください。
※移動の際には、ヘッドボード・フットボードを外して、調節フレームのパイプを両手で持って移動してください。
※危険ですのでヘッドボード・フットボード、オプション受けなどは持たないでください。

※電源コード、手元スイッチ、電源プラグは、移動の前に、ある程度たばねてキズなどがつかないようにベッドに固定してください。

●分解して保管または移動する場合
ベッドの分解は販売店にご依頼されることをおすすめします。

仕様

ベッド本体	サイズ（幅）		シングルサイズ		
	タイプ（長さ）		ショート	レギュラー	ロング
	寸法（mm）	ベッド総全長	2,000	2,100	2,240
		ベッド全幅	990		
		ボトム幅	890		
		ボトム長さ	1,850	1,950	2,090
		ヘッドボード高さ	580～940（床からボード上端まで）		
		フットボード高さ	475～835（床からボード上端まで）		
	総重量（kg）	K620A ケアモーション	73	74	75
		K620B 背上げ脚連動	73	74	75
		K630 3モーター	75	76	77
	床高（mm）	脚座取付け時	250～610（床からボトム面まで）		
		OPキャスター取付け時	250～610（床からボトム面まで）		
	モーター数		K-620A及びK-620B=2モーター／K-630=3モーター		
	操作		手元スイッチ・ボタン操作		
	主な材質	ハイローベースユニット	スチール製・抗菌剤入り粉体塗装仕上・合成樹脂成形品 塗装色:ディープブラウン		
		マザーユニット			
		フロント・リアユニット			
		各ボトム			
		ヘッド・フットボード	合成樹脂成形品/高級木目シート貼り/鋼板		

背上げ	傾斜角度	0～70度
	電源	入力　AC100V　50／60Hz　出力　DC24V
	消費電力	最大約35W
	昇降時間	約21秒
	連続使用時間	約6分
	モーター形式	DCモーター
	保護等級	I.P.-54（IEC529準拠）

		2モーター（ケアモーション・背上げ脚連動）	3モーター
膝上げ	傾斜角度	0～15度	0～40度
	電源	なし	入力　AC100V　50／60Hz　出力　DC24V
	消費電力	なし	最大約30W
	昇降時間	約5秒	約15秒
	連続使用時間	なし	約6分
	モーター形式	なし	DCモーター
	保護等級	なし	I.P.-54（IEC529準拠）

高さ調節	昇降距離	約360mm
	電源	入力　AC100V　50／60Hz　出力　DC24V
	消費電力	最大約50W
	昇降時間	約30秒
	連続使用時間	約6分
	モーター形式	DCモーター
	保護等級	I.P.-54（IEC529準拠）

●ケプロコア 850R シリーズ　モーターシステムの取得規格

1. マーク　日本電気用品取締法
2. TÜV RHINLANDドイツ技術検査協会
3. UL 米国保険業者検査協会
4. BS 英国規格協会
5. SEMKO　スウェーデン電気製品安全規格協会
6. DEMKO　デンマーク電気製品安全規格協会
7. NEMKO　ノルウェー電気製品安全規格協会
8. CEマーク　全ヨーロッパ安全指令

保証書

- このベッドは保証書を添付しています。『販売店・お買い上げ日』等の記入をお確かめの上、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- サービスをご依頼される前に今一度この取扱説明書の「組立て後の点検」(p31)「故障かな？と思ったら」(p43) をよくお読みの上、ご確認ください。
  それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。その際本製品名、故障内容をお申し付けください。
- その他アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店にご相談ください。

販売店の方へのお願い

お買い上げ日および貴店のお名前、ご住所、お電話番号を必ずご記入ご捺印した上で、お客様にお渡しください。

品　名	電動在宅ケアベット　和夢“雅”K-620A·B/630
保　証　期　間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年　　月　　日

お 客 様

お　名　前	様
ご　住　所	〒　　　TEL（　　　）

販 売 店

店　名	
住　所	〒　　　TEL（　　　）

PL賠償制度付共済

(社) 全国家具工業連合会：TEL03-3533-9568　製造・販売元：シーホネンス（株）

1. 保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理の場合には本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損。
   (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および破損。
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および破損。
   (ニ) 本書の提示がない場合
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

修理・お取り扱い・お手入れなどの相談は、まずお買い上げの販売店、
または弊社営業担当へお申し付けください。

【カスタマーサポートお問い合わせ窓口】

FreeCall 0120-20-1001（無料ツーワ） 10月1日は福祉用具の日

シーホネンス株式会社

〒537-0001　大阪市東成区深江北3丁目10番17号　TEL(06)6973-3471（代表）

2008.11.00